

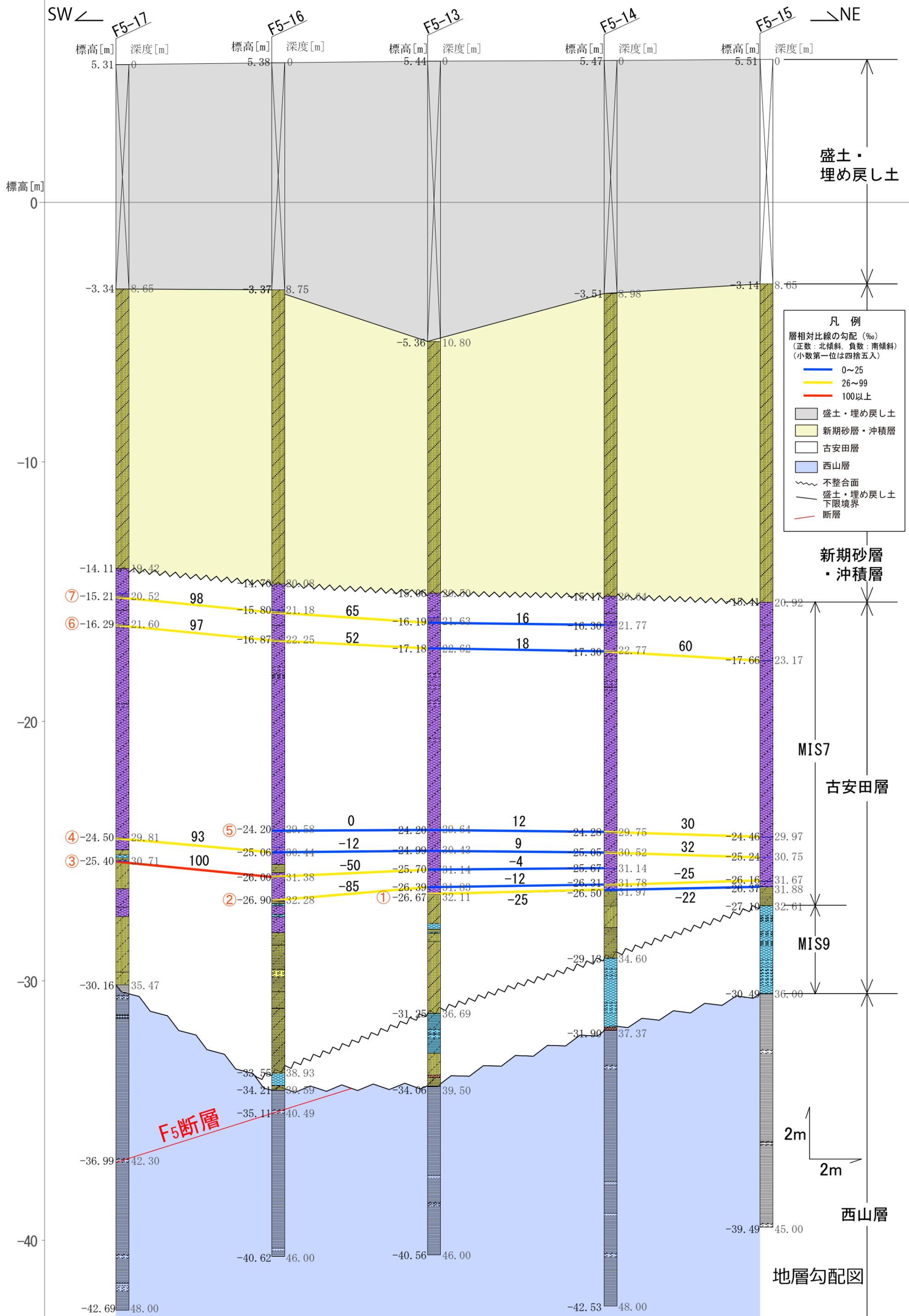
柏崎刈羽原子力発電所 6 号炉及び 7 号炉

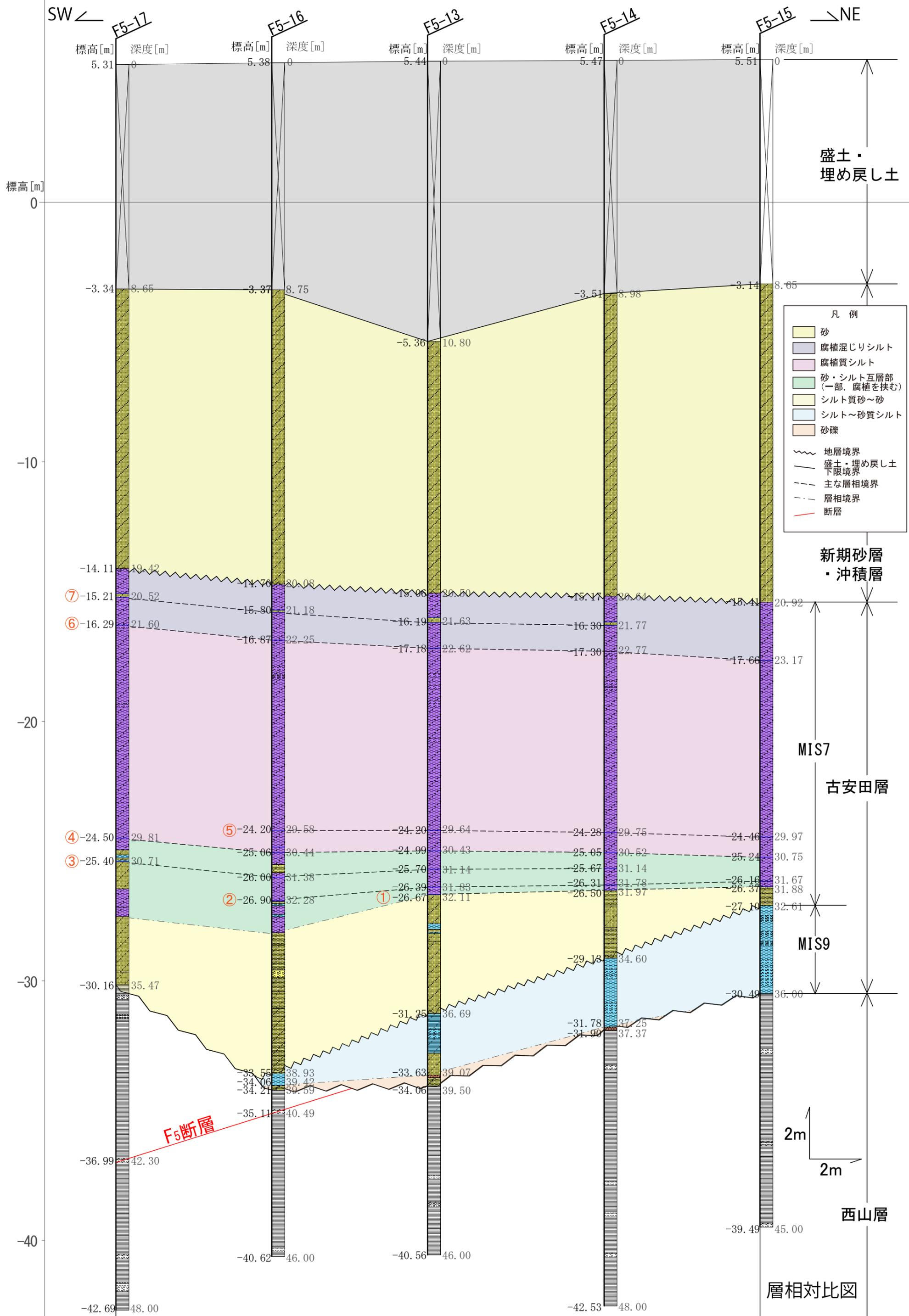
敷地の地質・地質構造について

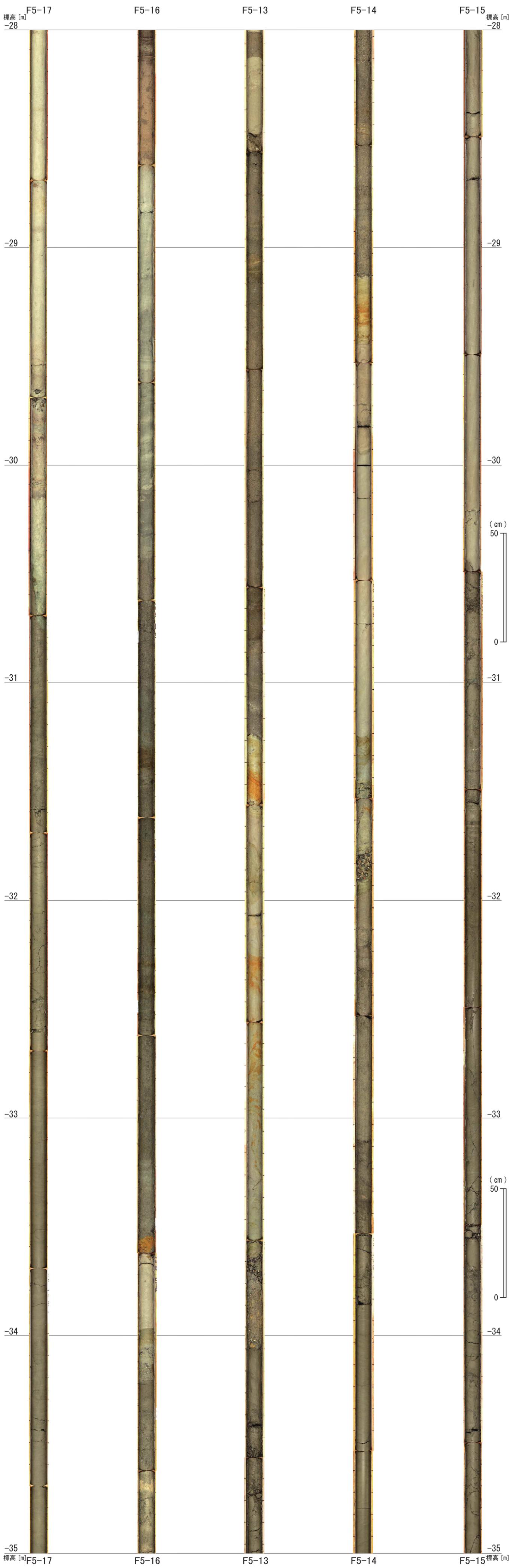
(F₅断層に関するボーリングデータ集)

平成 28 年 2 月 12 日

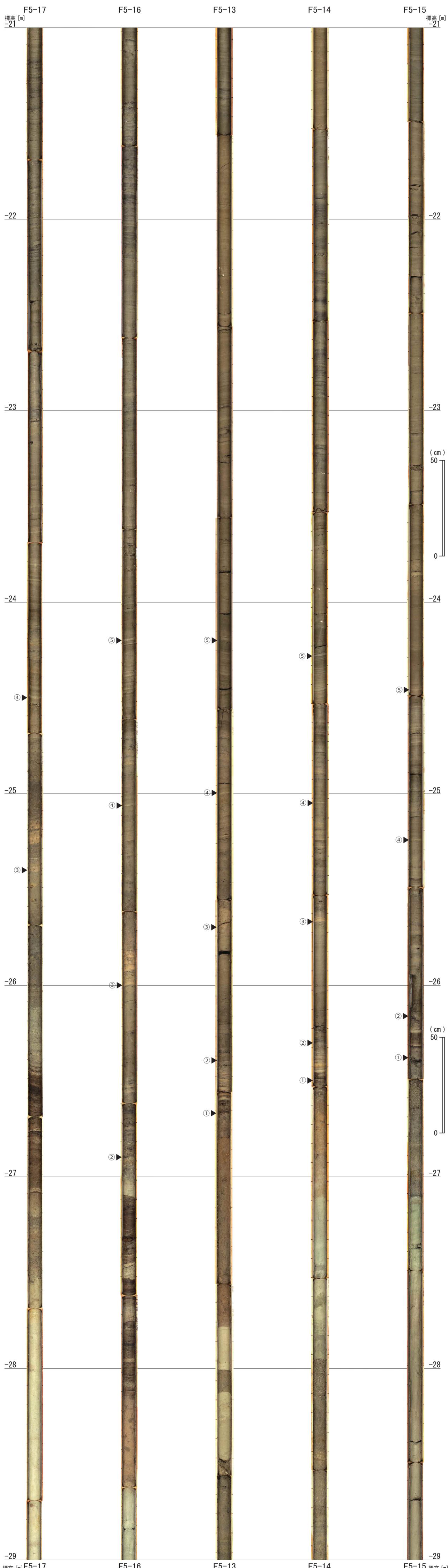
東京電力株式会社







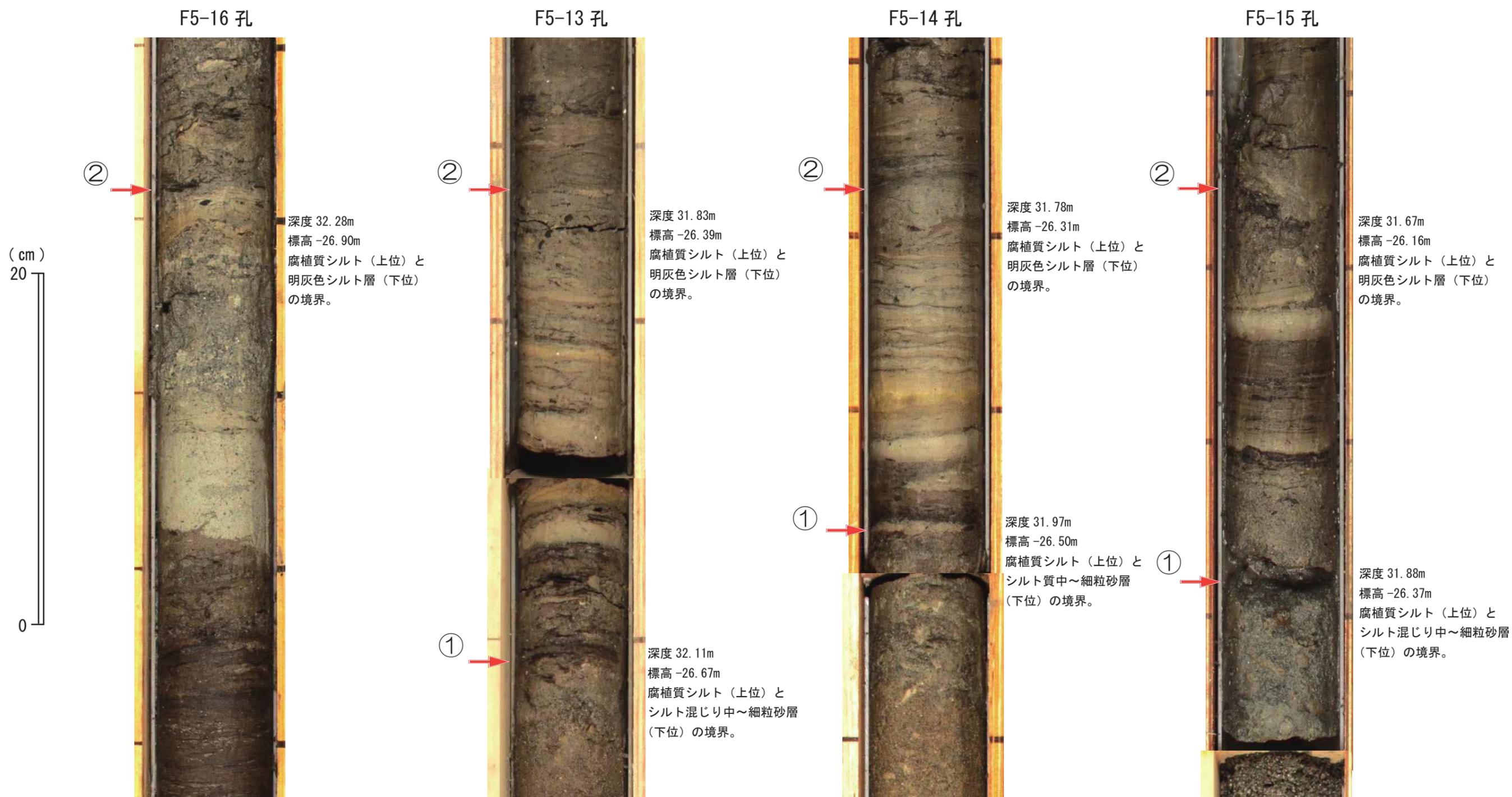
コア写真対比①



コア写真対比②



コア写真対比③

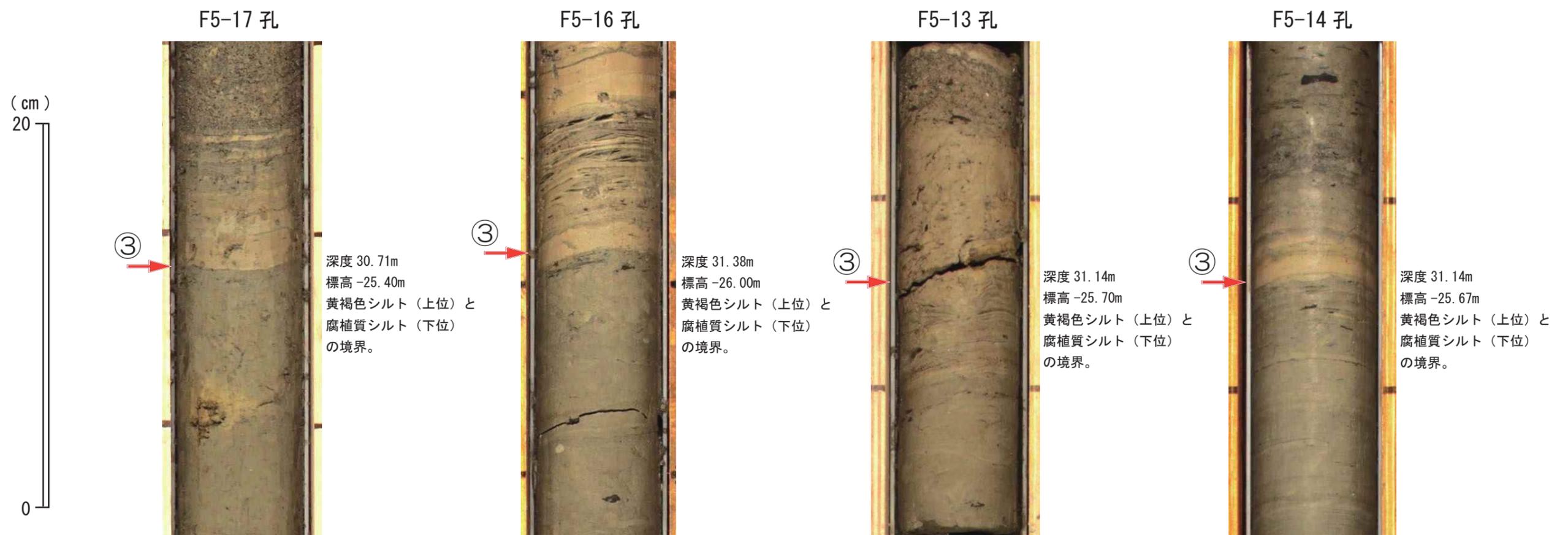


② 腐植質シルト（上位）と明灰色シルト層（下位）の境界を対比した。

① 腐植質シルト（上位）とシルト混じり（シルト質）中粒～細粒砂層（下位）の境界を対比した。

断面図に記載した
深度の位置

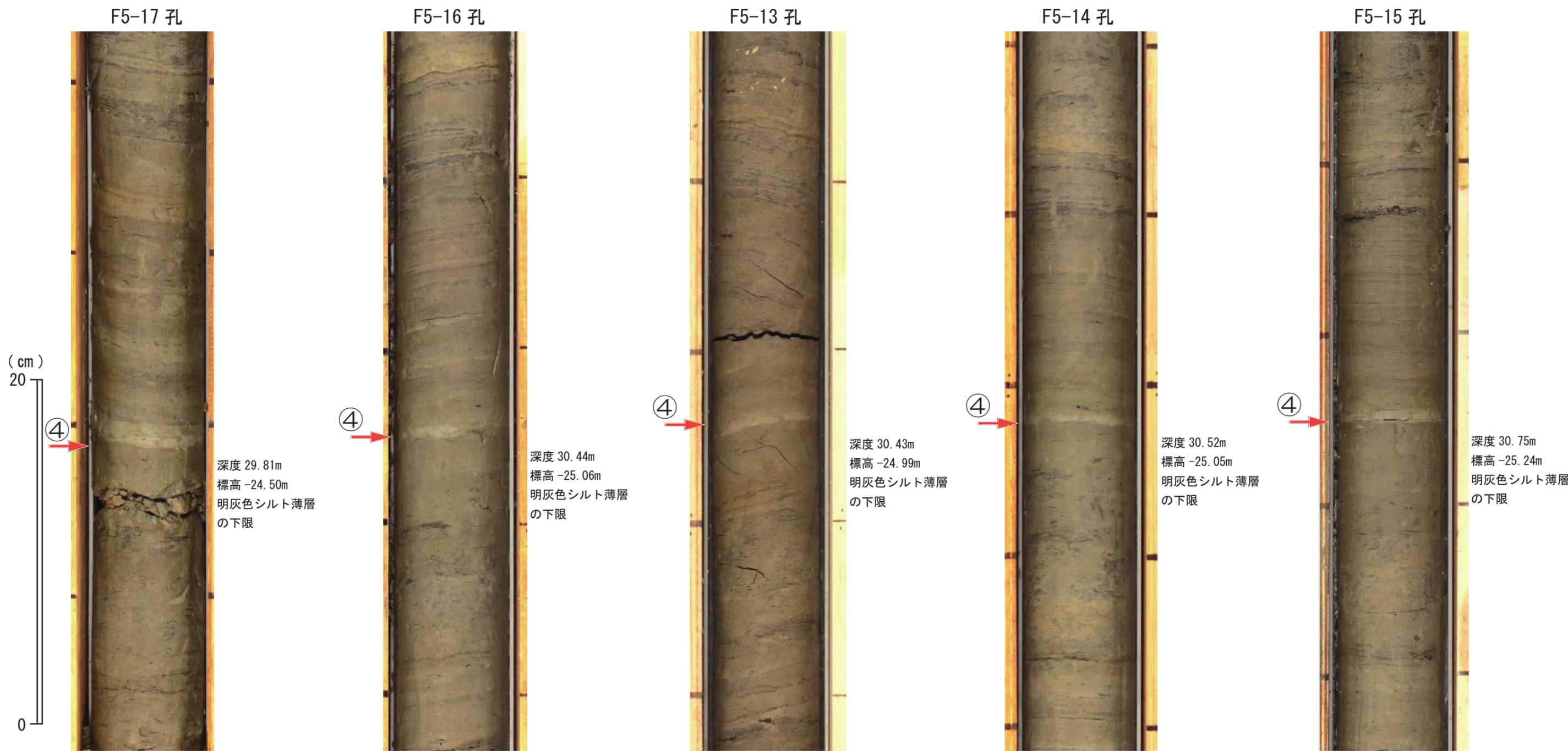
①② 古安田層中のシルト層，砂層の対比（標高 -26m 付近）



黄褐色シルト（上位）と腐植質シルト（下位）の境界を対比した。

→ 断面図に記載した
深度の位置

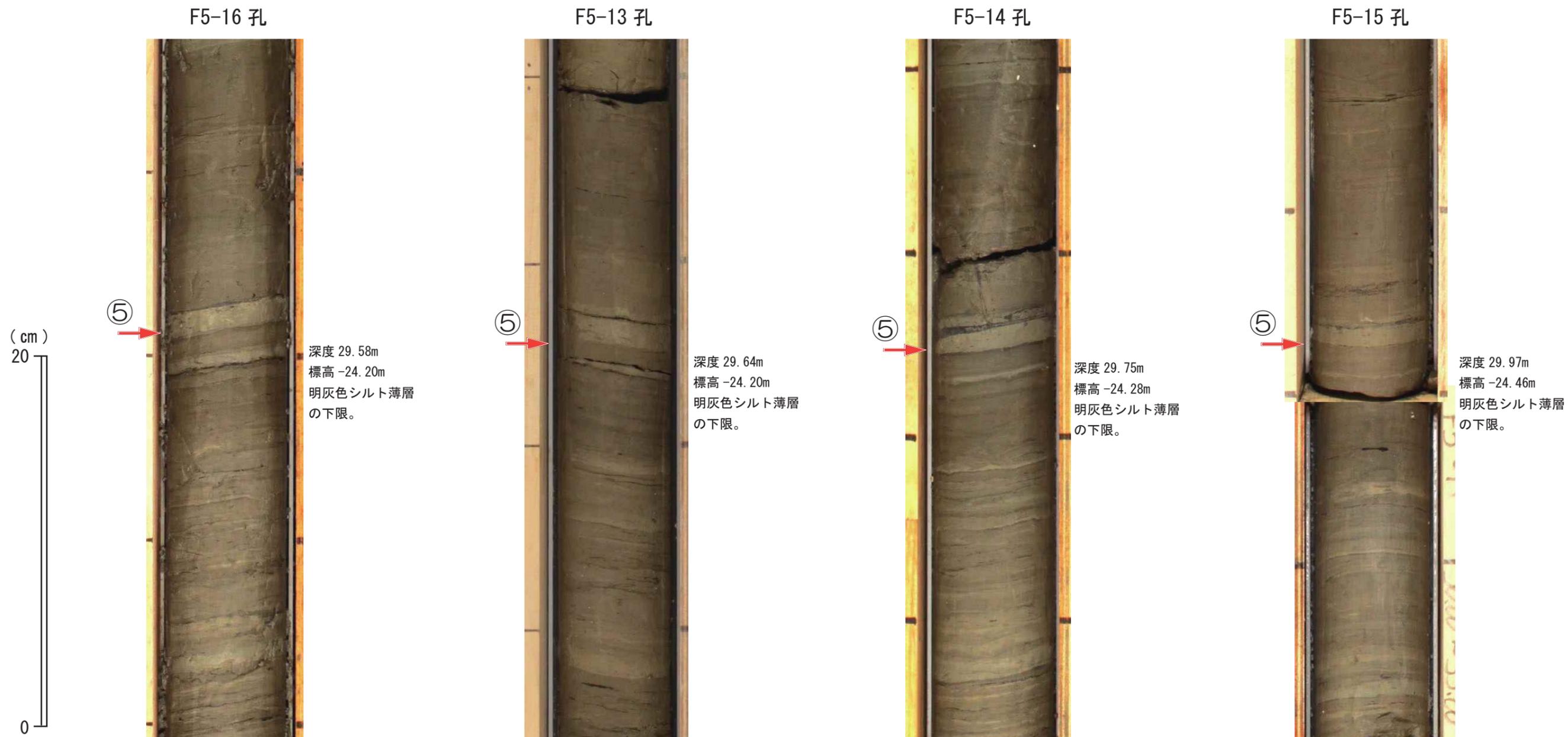
③ 古安田層中のシルト層の対比（標高 -26m 付近）



腐植質シルト中に認められる明灰色シルトの薄層を対比した。

断面図に記載した
深度の位置

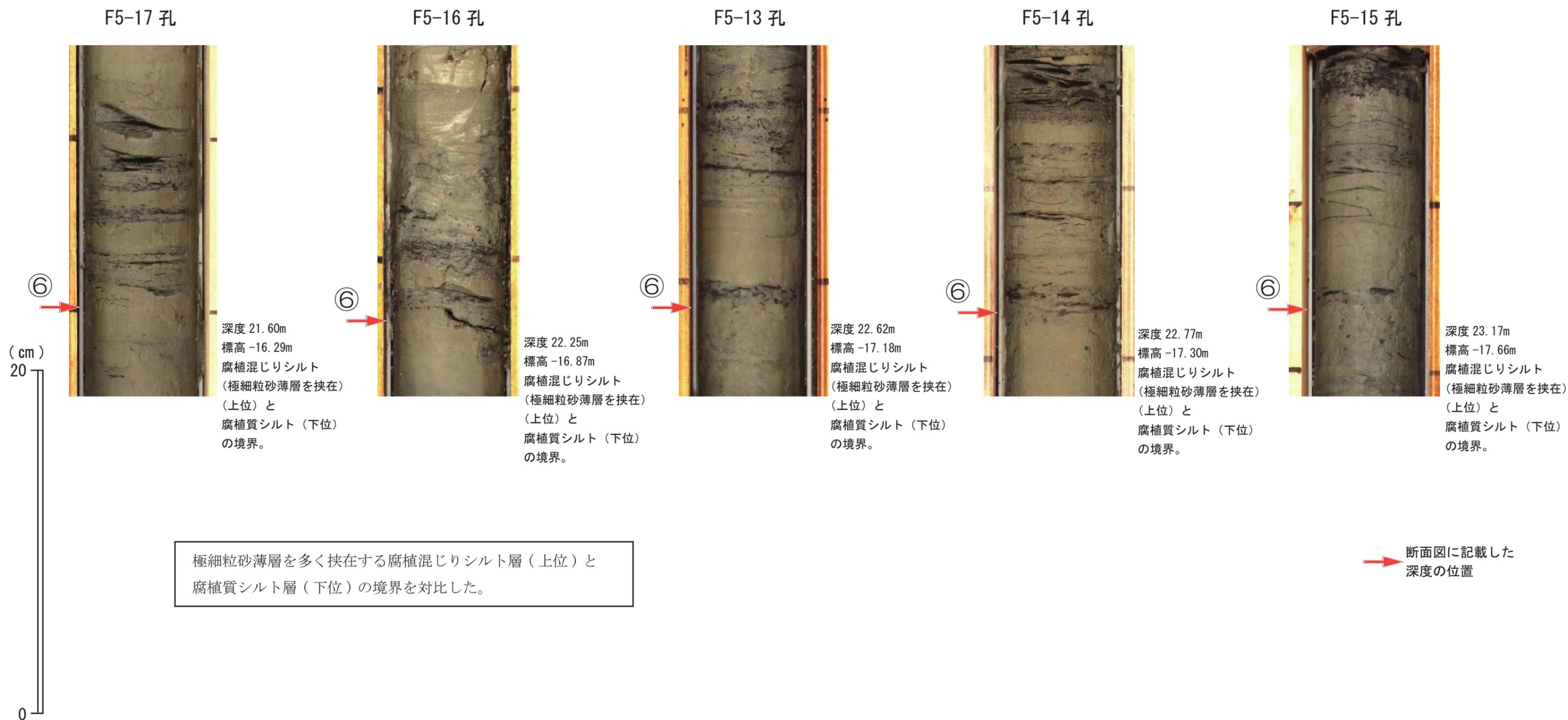
④ 古安田層中のシルト層の対比（標高 -25m 付近）



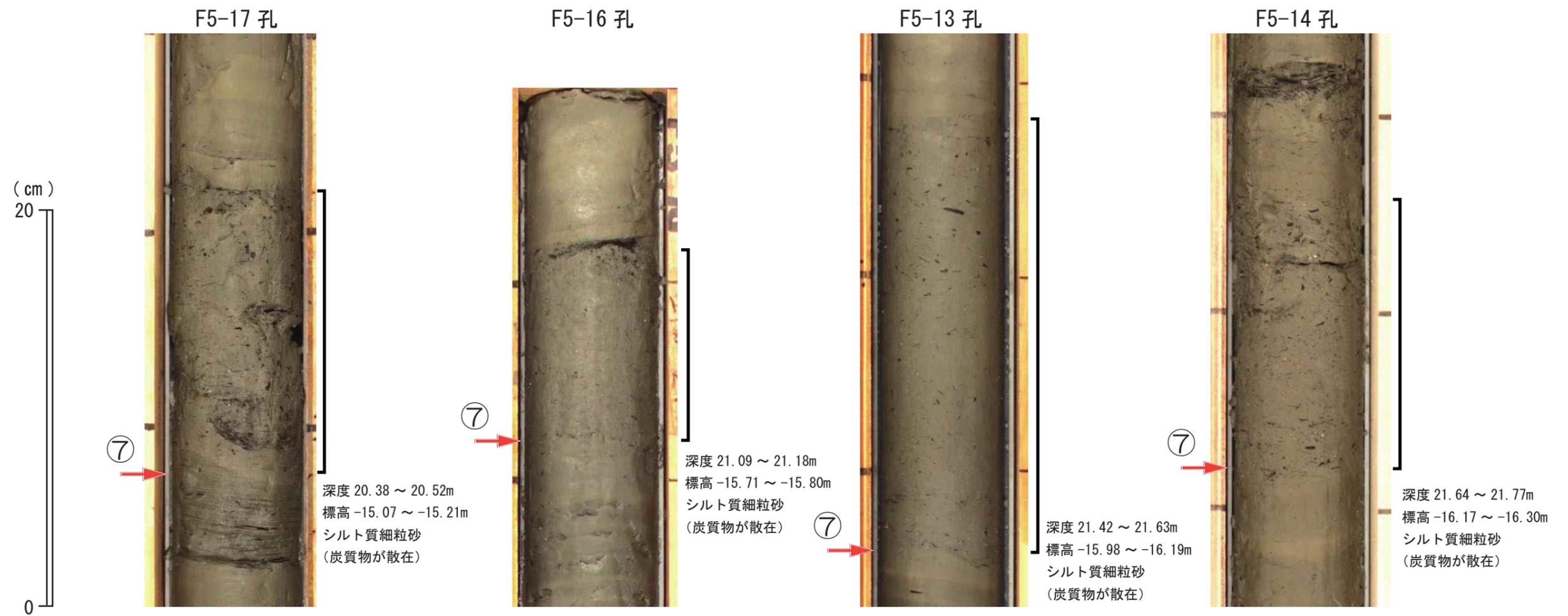
腐植質シルト中に認められる明灰色シルトの薄層の下限を対比した。
明灰色シルト薄層の最上部には、腐植の極薄層が分布する。

断面図に記載した
深度の位置

⑤ 古安田層中のシルト層の対比（標高 -24m 付近）



⑥ 古安田層中の砂層, シルト層の対比 (標高 -17m 付近)



腐植混じりシルト中に認められるシルト質細粒砂層を対比し、下限の深度を記載した。

断面図に記載した
→ 深度の位置

⑦ 古安田層中の砂層の対比 (標高 -16m 付近)

孔名 : F5-13

孔口標高 T. M. S. L. +5.44m

掘進長 46.00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 18.00~46.00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真	
20	-15.06		新期砂層・沖積層	10.80~20.50 新期砂層・沖積層。細粒~中粒砂からなる。 20.50 下位層を削剥する。	18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38	
20.50			古安田層	20.50~39.50 古安田層。腐植質シルト~シルトを主体とする。下部に砂礫を挟在する。 20.50~21.42 腐植混じりシルト。中粒~細粒砂薄層を挟む。 21.42~21.63 シルト質細粒砂。炭質物が散在する。(7) 21.63~22.62 腐植混じりシルト。極細粒砂薄層及び炭質物密集層を挟む。(6) 22.62~31.83 腐植質シルト。明灰色シルト薄層を挟み、縞状を呈する。また、貝殻片が散在する。 23.73 断層。傾斜75°。正断層変位0.5cm。下方へ連続しない。 24.19 断層。傾斜30°。正断層変位0.5cm。 24.77 断層。傾斜75°。正断層変位0.5cm。 24.88 断層。傾斜60°。正断層変位0.3cm。 26.23 断層。傾斜80°~90°。正断層変位0.3cm。下方へ連続しない。 29.62~29.64 層厚約20mmの明灰色シルト層を挟む。(5)。この薄層の上部には層厚1~2mmの腐植層を伴う。 30.43 層厚5~10mmの明灰色シルト層を挟む。(4) 31.05~31.14 黄褐色シルト薄層を挟む。(3) 31.83~32.11 シルト~腐植質シルト。腐植質シルトと明灰色シルト(1)が縞状を呈する。炭質物を挟む。 32.11~33.22 中~細粒砂。最上部にシルトを含む。 33.22~33.45 シルト。 33.45~33.56 中~細粒砂。 33.56~33.61 細粒砂混じりシルト。 33.61~33.92 シルト混じり細粒砂。 33.92~36.69 シルト混じり細~中粒砂。 36.69 下位層を削剥する。 36.69~38.23 シルト~粘土。 37.44 断層。傾斜45°。面に凹凸がある。 37.64 断層。傾斜45°。 38.23~39.07 シルト質細~中粒砂 39.07~39.17 砂礫。径5~10mm程度の垂円~垂角礫を主体とする。 39.17~39.50 礫混り粗粒砂。径2~15mm程度の垂角~垂円礫を多く含む。	19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38	
39.50	-34.06			西山層	39.50~46.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。 43.02~43.07 灰白色細粒凝灰岩 (Nt-15) 44.11 断層。傾斜75°。フィルム状の粘土と幅0~3mmの細片状破砕部を伴う。 44.12~44.16 暗灰色細粒凝灰岩	39 40 41 42 43 44 45
46.00	-40.56					45

孔名 : F5-14

孔口標高 T. M. S. L. +5. 47m

掘進長 48. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 18. 00~48. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真						
20	-15. 17		新期砂層・沖積層	8. 98~20. 64 新期砂層・沖積層。細粒~中粒砂からなる。 20. 64 下位層を削剥する。	18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36		19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36				
20. 64	古安田層		20. 64~37. 37 古安田層。腐植質シルト~シルトを主体とする。下部に砂礫を挟在する。 20. 64~21. 64 腐植混じりシルト。中粒~細粒砂薄層を挟む。 21. 64~21. 77 シルト質細粒砂。炭質物が散在する。⑦ 21. 77~22. 77 腐植混じりシルト。極細粒砂薄層及び炭質物密集層を挟む。⑥ 22. 77~31. 78 腐植質シルト。明灰色シルト薄層を挟み、縞状を呈する。また、貝殻片が散在する。 23. 07 断層。傾斜40° 正断層変位2cm。下方の層理面で途切れる 24. 05 断層。傾斜30° 正断層変位1cm。 24. 28 断層。傾斜50° 正断層変位2cm。 29. 73~29. 75 層厚約20mmの明灰色シルト層を挟む。⑤この薄層の上部には厚さ2~6mmの腐植層を伴う。 30. 52 層厚5~10mmの明灰色シルト層を挟む。④ 31. 09~31. 14 黄褐色シルト薄層を挟む。③ 31. 78~31. 97 シルト~腐植質シルト。腐植質シルトと明灰色シルト②が縞状を呈する。炭質物を挟む。 31. 97~32. 58 シルト質中~細粒砂。上部に腐植を含む。 32. 58~33. 42 シルト質細粒砂。 33. 42~34. 60 シルト混じり中~粗粒砂。不明瞭なラミナがみられる。下位層を削剥する。 34. 60~37. 25 シルト~粘土。 34. 92 ほぼ水平で、フィルム~幅1mmの暗灰色粘土(固結)を挟む 35. 15 断層。傾斜70°。 35. 40 断層。傾斜45°。フィルム状の暗灰色粘土(固結)が密集する。 36. 45 断層。傾斜40°。幅1mm程度の暗灰色粘土(固結)を伴う。 36. 55 断層。傾斜55°。フィルム状の暗灰色粘土(固結)を伴う。正断層変位0. 2cm。 36. 72 断層。傾斜45°。幅1mm程度の暗灰色粘土(固結)を伴う。 37. 25~37. 37 砂礫。径5~25mm程度の亜円~亜角礫を多く含む。								
37. 37	-31. 90			西山層	37. 37~48. 00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。 38. 84~38. 87 断層。傾斜15°。最大幅4mmの粘土を伴う。 43. 30~43. 34 灰白色細粒凝灰岩 (Nt-15) 44. 53~44. 55 暗灰色細粒凝灰岩 45. 97~46. 11 断層。傾斜65°。幅約70mmの細片~岩片状部を伴う。		37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47		38 39 40 41 42 43 44 45 46 47		
48. 00	-42. 53						47		48		
50											

孔名 : F5-15

孔口標高 T. M. S. L. +5. 51m

掘進長 45. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 18. 00~45. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
20	-15. 41		新期砂層・沖積層	8. 65~20. 92 新期砂層・沖積層。細粒~中粒砂からなる。 20. 92 下位層を削剥する。	18 19 20
20. 92	-15. 41		古安田層	20. 92~36. 00 古安田層。腐植質シルト~シルトを主体とする。下部に砂礫を挟在する。 20. 92~21. 79 腐植混じりシルト。中粒~細粒砂薄層を挟む。 21. 79~23. 17 腐植質混じりシルト。極細粒砂薄層及び炭質物密集層を挟む。⑥ 23. 17~31. 67 腐植質シルト。明灰色シルト薄層を挟み、縞状を呈する。また、貝殻片が散在する。 29. 96~29. 97 層厚約10~15mmの明灰色シルト層を挟む。この薄層の上部には層厚1~2mmの腐植層を伴う。⑤ 30. 75 層厚5~10mmの明灰色シルト層を挟む。④ 31. 67~31. 88 シルト~腐植質シルト。腐植質シルトと明灰色シルトが縞状を呈する。炭質物を挟む。② 31. 88~32. 61 シルト混じり中~粗粒砂。腐植を少量含む。 32. 61~36. 00 シルト。 33. 13 傾斜5°程度でフィルム~幅1mmの暗灰色粘土(固結)を挟む 33. 20~35. 70 傾斜30°~70°程度の断層が多く認められる。フィルム~幅1mmの暗灰色粘土(固結)を伴う。	21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35
36. 00	-30. 49		西山層	36. 00~45. 00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。 38. 31 断層。傾斜70°。フィルム状の粘土と幅0~2mm程度の砂状~細片状部を伴う。 41. 77~41. 84 灰白色細粒凝灰岩(Nt-15) 41. 85 断層。傾斜5°。幅5~8mm程度の粘土を伴う。 45. 00 断層。傾斜85°。フィルム状の粘土を伴う。	36 37 38 39 40 41 42 43 44
45. 00	-39. 49				45

孔名 : F5-16

孔口標高 T. M. S. L. +5. 38m

掘進長 46. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 18. 00~46. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真	
20.08	-14.70		新期砂層・沖積層	<p>8. 75~20. 08 新期砂層・沖積層。細粒~中粒砂からなる。</p> <p>20. 08 下位層を削剥する。</p> <p>20. 08~39. 59 古安田層。腐植質シルト~シルトを主体とする。下部に砂礫を挟在する。</p> <p>20. 08~21. 09 腐植混じりシルト。中粒~細粒砂薄層を挟む。</p> <p>21. 09~21. 18 シルト質細粒砂。炭質物が散在する。(7)</p> <p>21. 18~22. 25 腐植混じりシルト。極細粒砂薄層及び炭質物密集層を挟む。(6)</p> <p>22. 25~30. 89 腐植質シルト。明灰色シルト薄層を挟み、縞状を呈する。また、貝殻片が散在する。</p> <p>23. 42 断層。傾斜30° 正断層変位1cm。下方で傾斜が緩くなる。</p> <p>23. 70 断層。傾斜65° 正断層変位0. 5cm。</p> <p>23. 74 断層。傾斜65° 正断層変位1cm。</p> <p>29. 56~29. 58 層厚幅約15mmの明灰色シルト層を挟む。(5) この薄層の上部には層厚1~2mmの腐植層を伴う。</p> <p>30. 44 層厚5~10mmの明灰色シルト層を挟む。(4)</p> <p>30. 89~31. 21 シルト質中粒砂。</p> <p>31. 21~32. 32 腐植質シルト。</p> <p>31. 21~31. 38 黄褐色シルト層を挟む。(3)</p> <p>32. 28~32. 32 明灰色~黄褐色シルト薄層を挟む。(2)</p> <p>32. 32~32. 41 腐植質中粒砂。</p> <p>32. 41~32. 48 細粒砂混じりシルト。</p> <p>32. 48~32. 82 腐植質シルト。腐植を比較的多く含む。</p> <p>32. 82~32. 91 細粒砂混じりシルト。</p> <p>32. 91~33. 52 腐植質シルト。腐植を比較的多く含む。</p> <p>33. 52~34. 00 シルト質中粒砂。偽礫を含む。</p> <p>34. 00~35. 80 シルト質中粒~細粒砂。概ね上方細粒化を示す。下部に不明瞭なラミナがみられる。</p> <p>35. 07 断層。傾斜90°。正断層変位1. 5cm。35. 23の断層に合流する。</p> <p>35. 23 断層。傾斜50°。正断層変位2cm。</p> <p>35. 80~36. 44 中~粗粒砂。シルトを少量含む。淘汰がやや不良である。</p> <p>36. 44~38. 57 中粒~細粒砂。少量のシルトを含む。</p> <p>38. 57~38. 93 細粒砂混じり中粒砂。少量のシルトを含む。下位層を削剥する。</p> <p>38. 93~39. 42 シルト。最上部は褐色を呈する。最下部は暗黄色を呈する。</p> <p>39. 42~39. 59 砂礫。径2~4mm程度の垂円~垂角礫を多く含む。</p>		
39.59	-34.21			西山層	<p>39. 59~46. 00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。</p> <p>40. 48~40. 49 断層。傾斜15°。幅約10mmの粘土及び幅約80mmの細片~砂状部を伴う (F5)。</p>	
40						
41						
42						
43						
44						
46.00	-40.62				<p>45. 77~45. 81 灰白色細粒凝灰岩 (Nt-15)</p>	
45						

孔名 : F5-17

孔口標高 T. M. S. L. +5. 31m

掘進長 48. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 18. 00~48. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真	
19.42	-14.11		新期砂層・沖積層	8. 65~19. 42 新期砂層・沖積層. 細粒~中粒砂からなる. 19. 42 下位層を削剥する.	18 19	
20	古安田層		19. 42~35. 47 古安田層. 腐植質シルト~シルトを主体とする. 下部に砂礫を挟在する. 19. 42~20. 38 腐植混じりシルト. 中粒~細粒砂薄層を挟む. 20. 38~20. 52 シルト質細粒砂. 炭質物が散在する. (7) 20. 52~21. 60 腐植混じりシルト. 極細粒砂薄層及び炭質物密集層を挟む. (6) 21. 60~30. 26 腐植質シルト. 明灰色シルト薄層を挟み. 縞状を呈する. また. 貝殻片が散在する. 21. 72 断層. 傾斜50°. 正断層変位1. 5cm. 24. 76 断層. 傾斜76°. 正断層変位2cm. 29. 80~29. 81 層厚約10mmの明灰色シルト層を挟む. (4) この薄層の上部には層厚1~2mmの腐植層を伴う. 30. 26~30. 45 シルト質細~中粒砂. 30. 45~30. 57 黄褐色シルト. 30. 57~30. 65 シルト質細粒砂. 30. 65~30. 71 黄褐色シルト. (3) 30. 71~31. 76 シルト質細~中粒砂. 最上部は腐植混じりシルトを含む. 31. 76~32. 47 腐植質シルト. 腐植を比較的多く含む. 32. 47~32. 83 腐植混じりシルト. 細~中粒砂を含む. 32. 83~34. 97 シルト質細粒砂. 34. 97~35. 47 礫混じりシルト質細粒砂. 上部に径2~10mm程度の垂円礫を含む. 最下部は粗粒砂を多く含む.	19 20 20 21 21 22 22 23 23 24 24 25 25 26 26 27 27 28 28 29 29 30 30 31 31 32 32 33 33 34 34 35		
35			西山層	35. 47~48. 00 西山層. 塊状の泥岩を主体とする. 35. 47~36. 00 角礫状泥岩からなるすべり土塊. 36. 00 断層. 傾斜80~60°. 幅約0~1mmの固結粘土を伴う. 36. 76 灰白色軽石が点在する (Np-6). 41. 05~41. 15 ノジュールを挟む. 42. 26~42. 30 断層. 傾斜5°. 幅約40mmの粘土を伴う (F5). 46. 00 断層. 傾斜84°. 幅約0~1mmの粘土及び幅0~2mmの細片状部を伴う. 47. 06~47. 08 灰白色細粒凝灰岩 (Nt-15). 47. 26 断層. 傾斜86°. 幅約0~1mmの粘土及び幅0~2mmの細片状部を伴う.	35 36 36 37 37 38 38 39 39 40 40 41 41 42 42 43 43 44 44 45 45 46 46 47 47 48	
50						

孔名 : F5-12

孔口標高 T. M. S. L. +5. 45m

掘進長 47. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 18. 00~47. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
19.61	-14.16		盛土・埋め戻し土	0.00~19.61 盛土・埋め戻し土.	18
20			古安田層	19.61~43.05 古安田層. シルトを主体とし、中部及び下部に砂を多く含む. 19.61~20.50 シルト. 腐植を少量含む. 20.50~21.85 腐植混じりシルト. 材を含む. 21.80 ノジュールがみられる. 21.85~23.13 腐植質シルト. 縞状を呈する. 23.00~23.27 生痕が分布し、ノジュールがみられる. 23.13~24.32 腐植混じりシルト. 24.32~25.65 腐植質シルト. 縞状を呈する. 24.98 腐植が多く混じるようになる. 25.65~26.30 腐植混じりシルト. 26.30~26.63 腐植質シルト. 縞状を呈する. 26.63~27.68 シルト. 26.63~26.75 腐植を少量含む. 27.68~28.78 シルト質細粒砂. 腐植を少量含む. ラミナがみられる. 28.78~29.63 シルト. 29.63~30.25 シルト混じり中粒砂 30.25~30.47 砂質シルト. ラミナがみられる. 30.47~33.50 礫混じり粗~中粒砂. 径5~30mm程度のシルト礫を含む.	19
21				21	
22				22	
23				23	
24				24	
25				25	
26				26	
27				27	
28				28	
29				29	
30				30	
31				31	
32				32	
33				33	
34				34	
35			35		
36			36		
37			37		
38			38		
39			39		
40			40		
41			41		
42			42		
43			43		
44			44		
45			45		
46			46		
47.00	-41.55		西山層	43.05~47.00 西山層. 塊状の泥岩を主体とする. 43.05~43.59 コア欠. 46.64~46.83 ノジュールを挟む.	47

※層相対比について
 ・明瞭な層相境界を対比した。
 ・ただし、地層に挟在する薄層については、層厚の中央値で対比した。

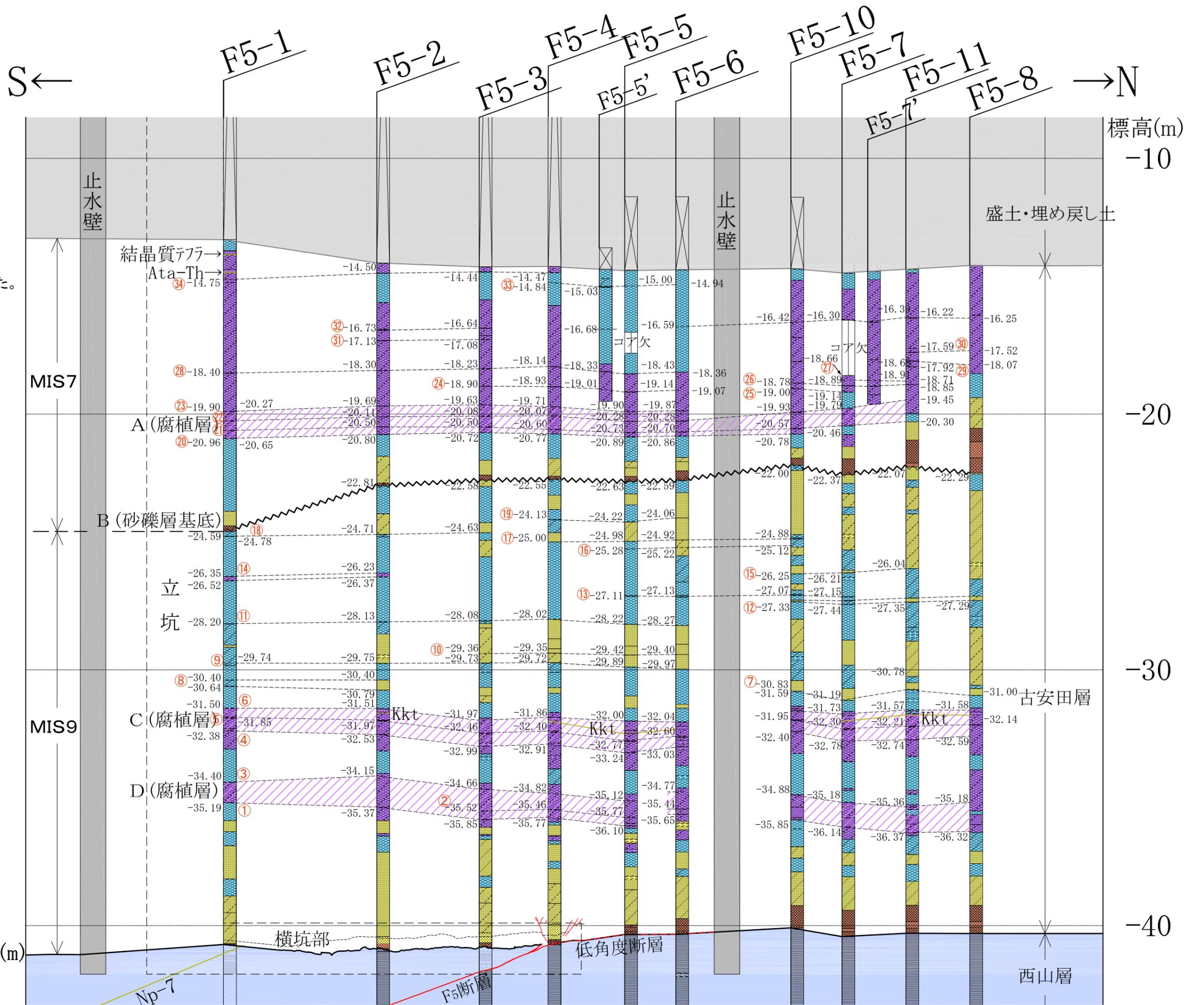
凡例

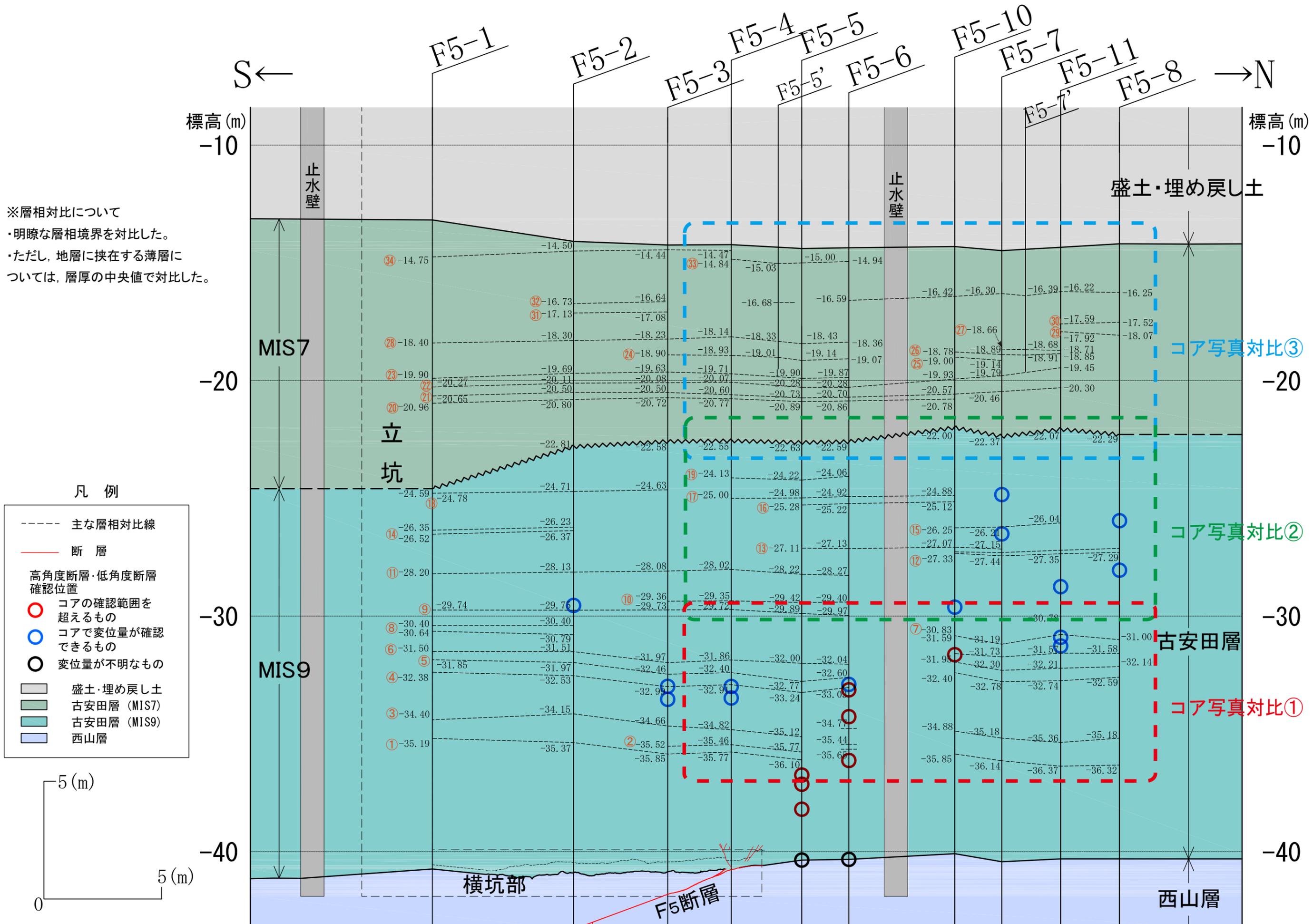
- 主な層相対比線
- テフラ層
- 断層
- 腐植質
- シルト主体
- 砂主体
- 礫混り砂

5 (m)

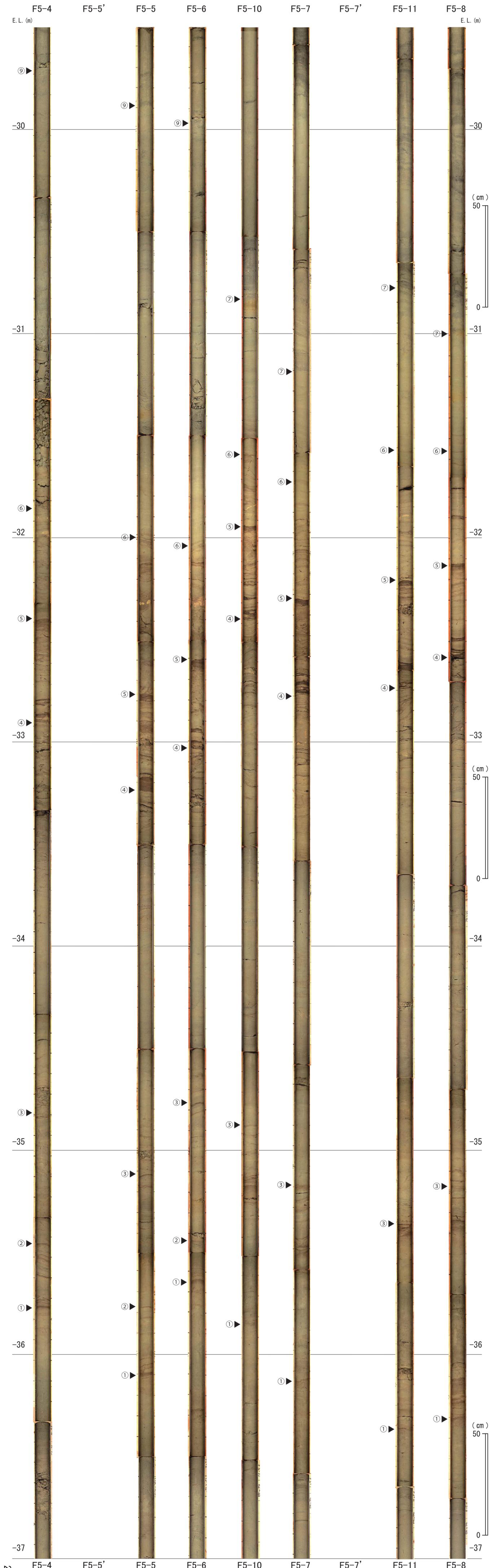
0

5 (m)

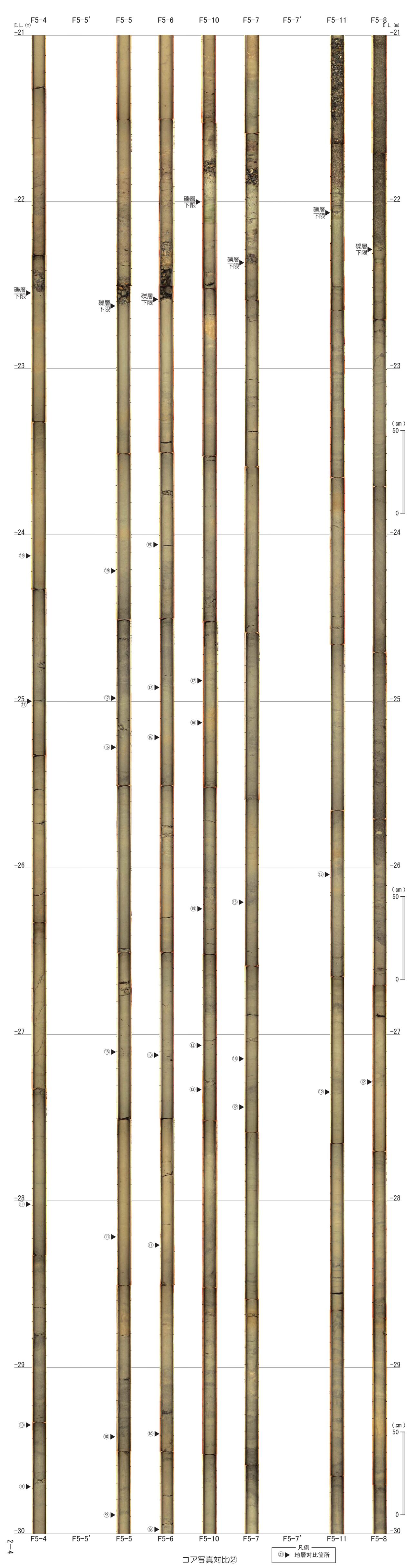




※層相対比について
 ・明瞭な層相境界を対比した。
 ・ただし、地層に挟在する薄層については、層厚の中央値で対比した。



コア写真対比①



F5-4

F5-5'

F5-5

F5-6

F5-10

F5-7

F5-7'

F5-11

F5-8

E.L. (m)

E.L. (m)

-21

-21

-22

-22

-23

-23

-24

-24

-25

-25

-26

-26

-27

-27

-28

-28

-29

-29

-30

-30

(cm)
50
0

(cm)
50
0

(cm)
50
0

礫層
下限

①

①

①

①

①

②

②

②

②

③

③

③

③

③

④

④

④

④

④

⑤

⑤

⑤

⑤

⑤

⑥

⑥

⑥

⑥

⑥

⑦

⑦

⑦

⑦

⑦

⑧

⑧

⑧

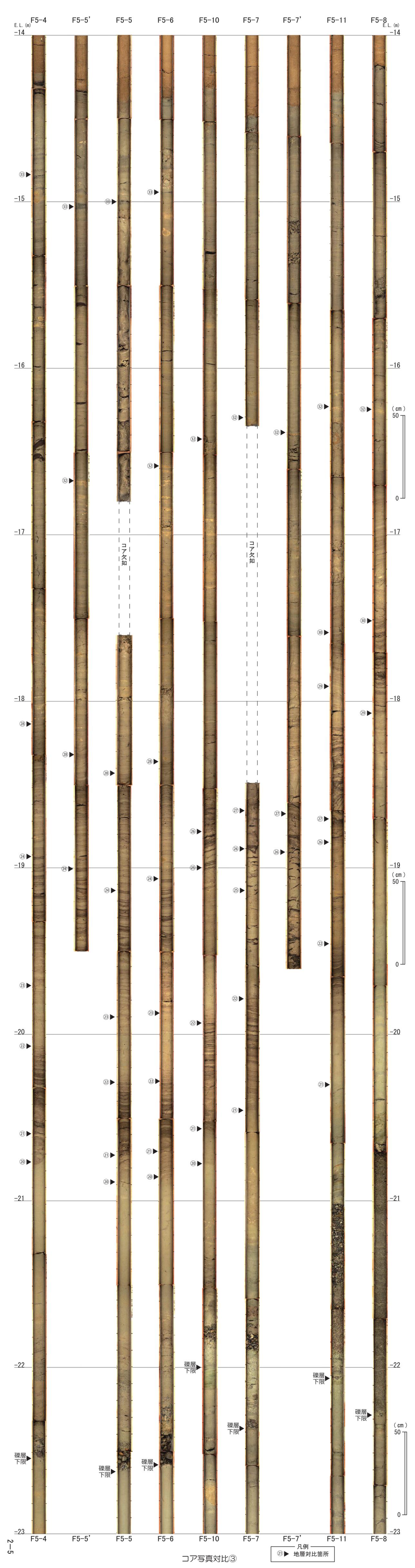
⑧

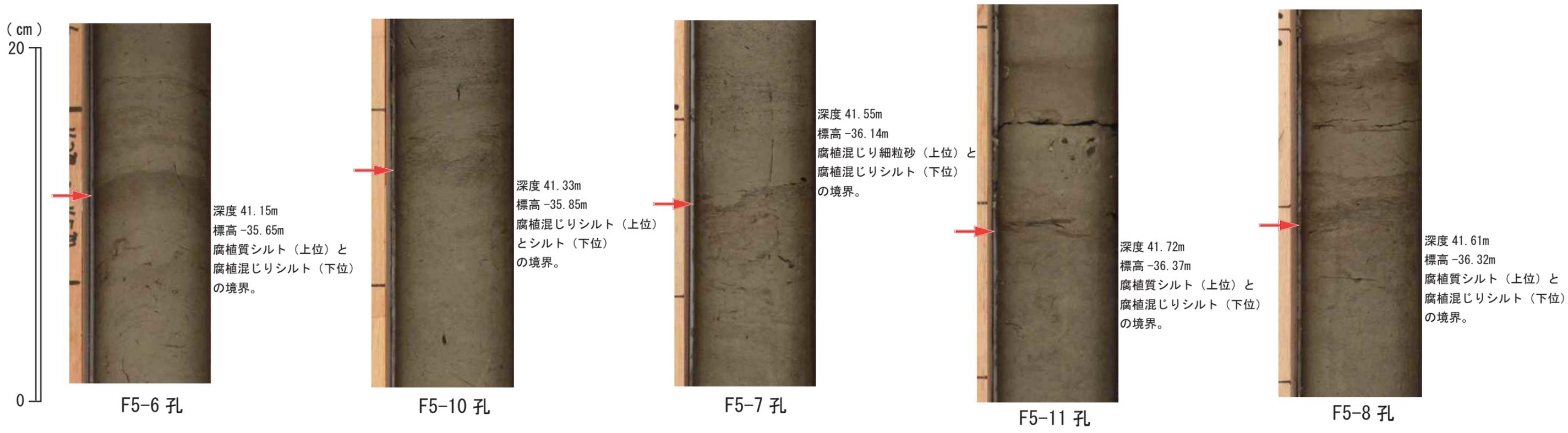
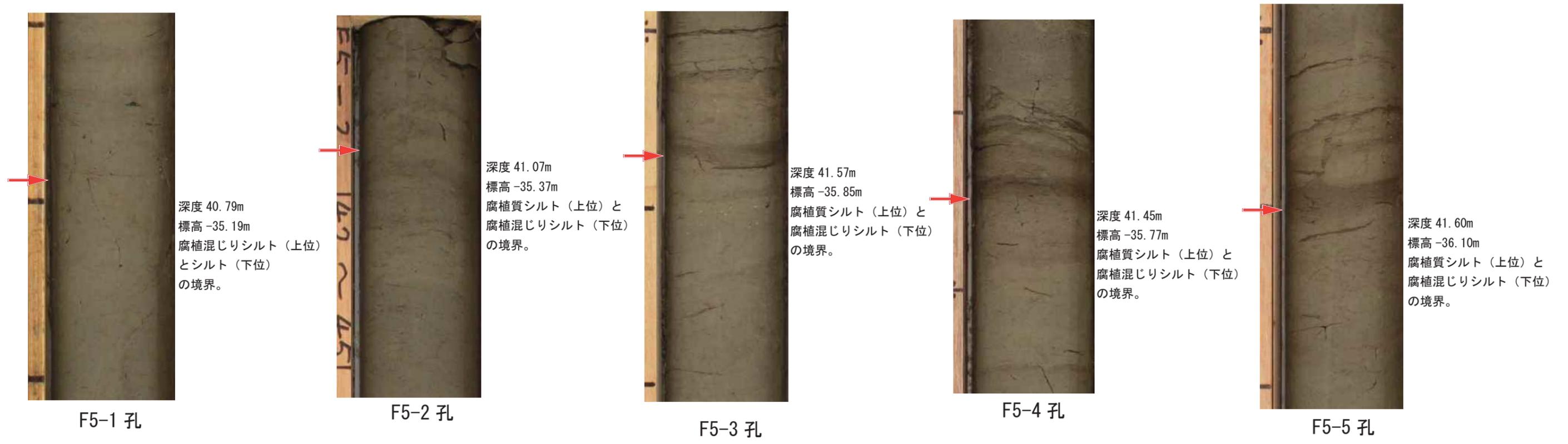
⑧

凡例
①▶ 地層対比箇所

コア写真対比②

2-4





MIS9 堆積物の最下位に認められる縞状を呈する腐植層の下限を対比した。

断面図に記載した深度の位置

①古安田層中の腐植層の対比（標高 -36m 付近）

(cm)
20
0



深度 41.24m
標高 -35.52m
腐植混じりシルト（上位）
と腐植質シルト（下位）
の境界。

F5-3 孔



深度 41.14m
標高 -35.46m
腐植混じりシルト（上位）
と腐植質シルト（下位）
の境界。

F5-4 孔



深度 41.27m
標高 -35.77m
腐植混じりシルト（上位）
と腐植質シルト（下位）
の境界。

F5-5 孔



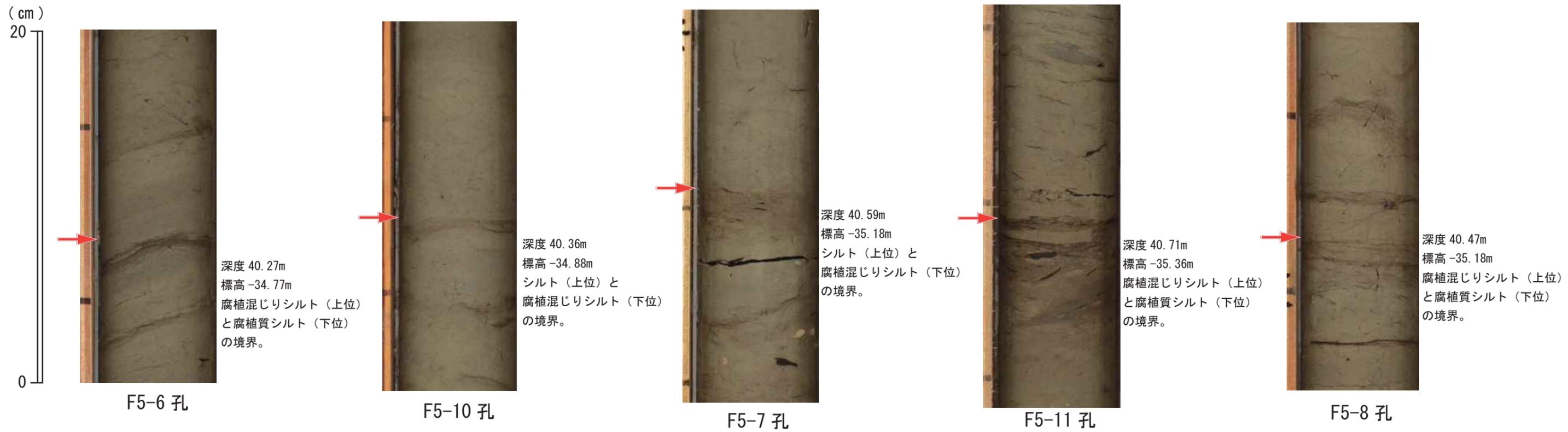
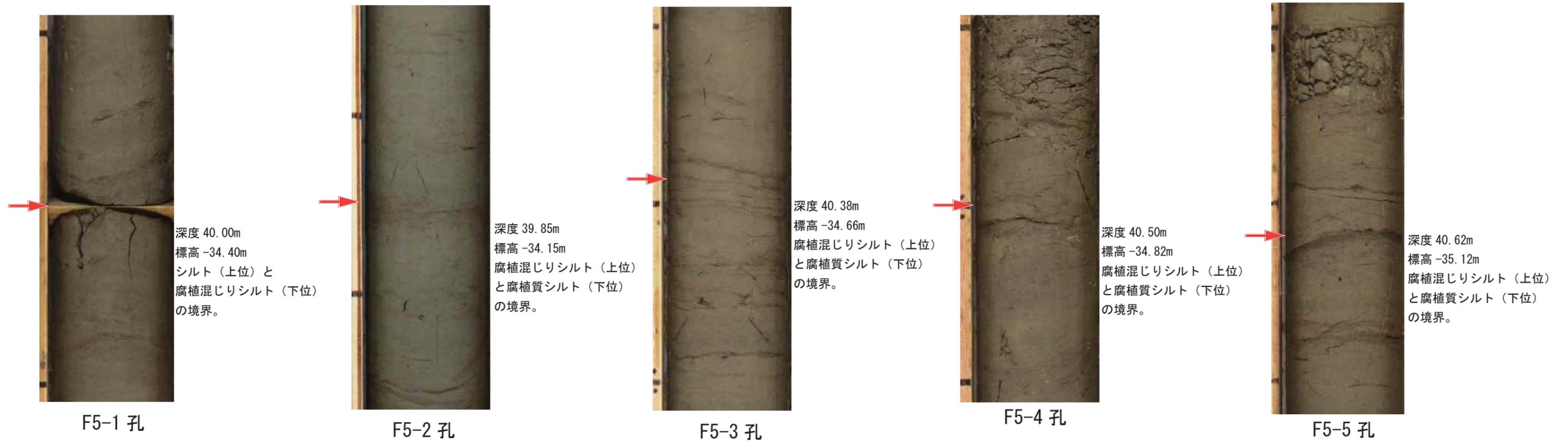
深度 40.94m
標高 -35.44m
腐植混じりシルト（上位）
と腐植質シルト（下位）
の境界。

F5-6 孔

断面図に記載した
深度の位置

①対比層から連続する縞状を呈する腐植層の上限を対比した。

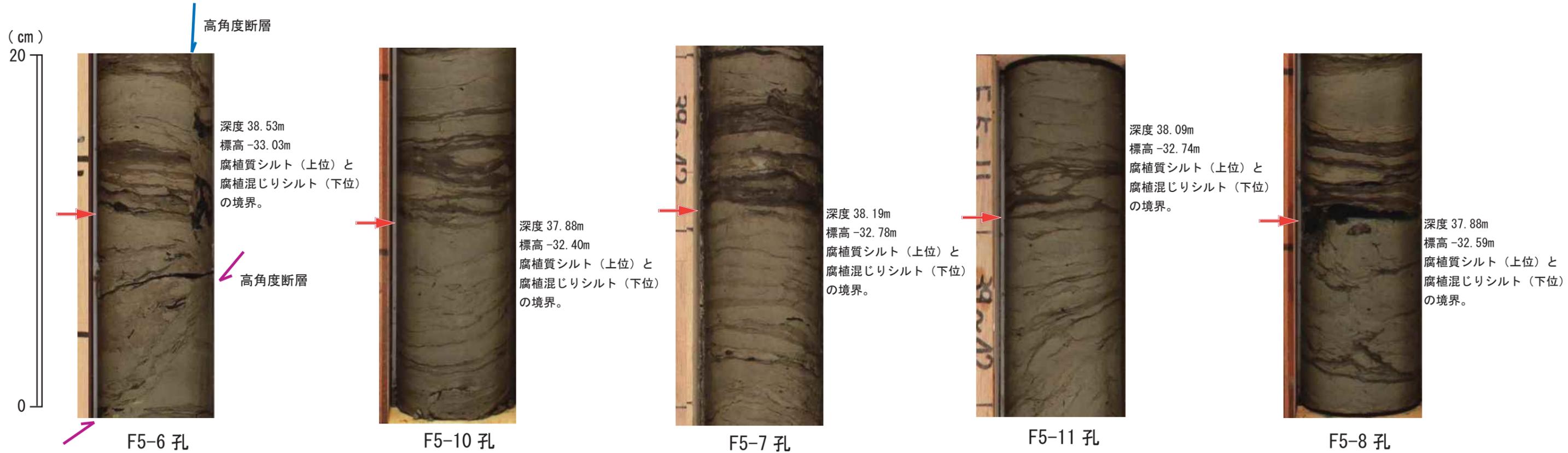
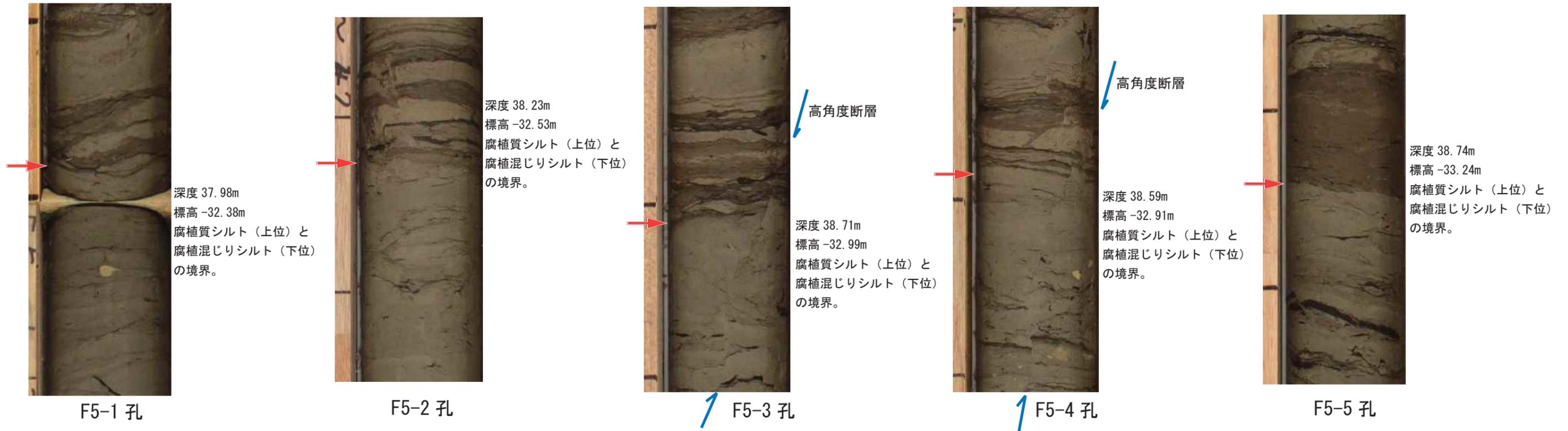
②古安田層中の腐植層の対比（標高 -35m 付近）



①対比層から連続する腐植層縞状部の明瞭部の上限を対比した。

断面図に記載した深度の位置

③古安田層中の腐植層の対比 (標高 -35m 付近)



③対比層の上位に分布する腐植層 (腐植質シルト) の縞状部の下限を対比した。層厚 10 cm 程度の明瞭な縞状を呈する特徴がある。

断面図に記載した深度の位置

④古安田層中の腐植層の対比 (標高 -33m 付近)



深度 37.45m
標高 -31.85m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-1 孔



深度 37.67m
標高 -31.97m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-2 孔



深度 38.18m
標高 -32.46m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-3 孔



深度 38.08m
標高 -32.40m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-4 孔



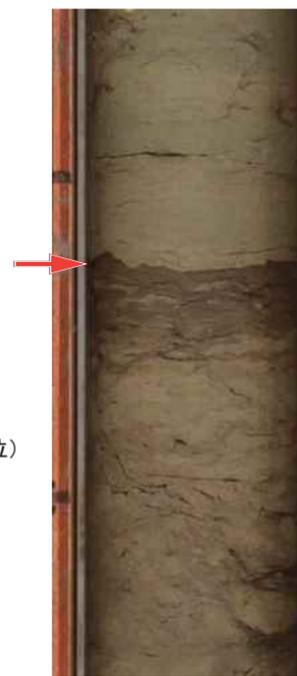
深度 38.27m
標高 -32.77m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-5 孔



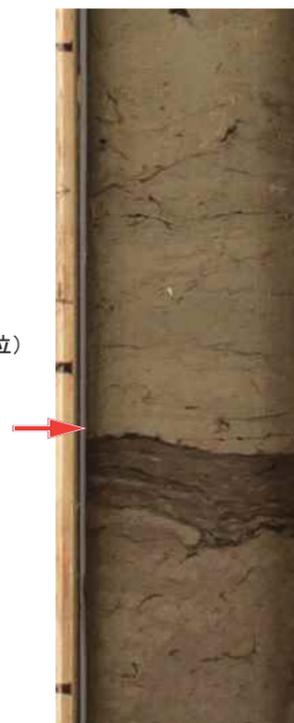
深度 38.10m
標高 -32.60m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-6 孔



深度 37.43m
標高 -31.95m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-10 孔



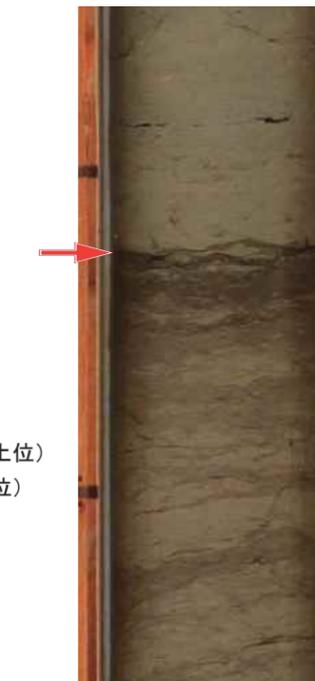
深度 37.71m
標高 -32.30m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-7 孔



深度 37.56m
標高 -32.21m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-11 孔



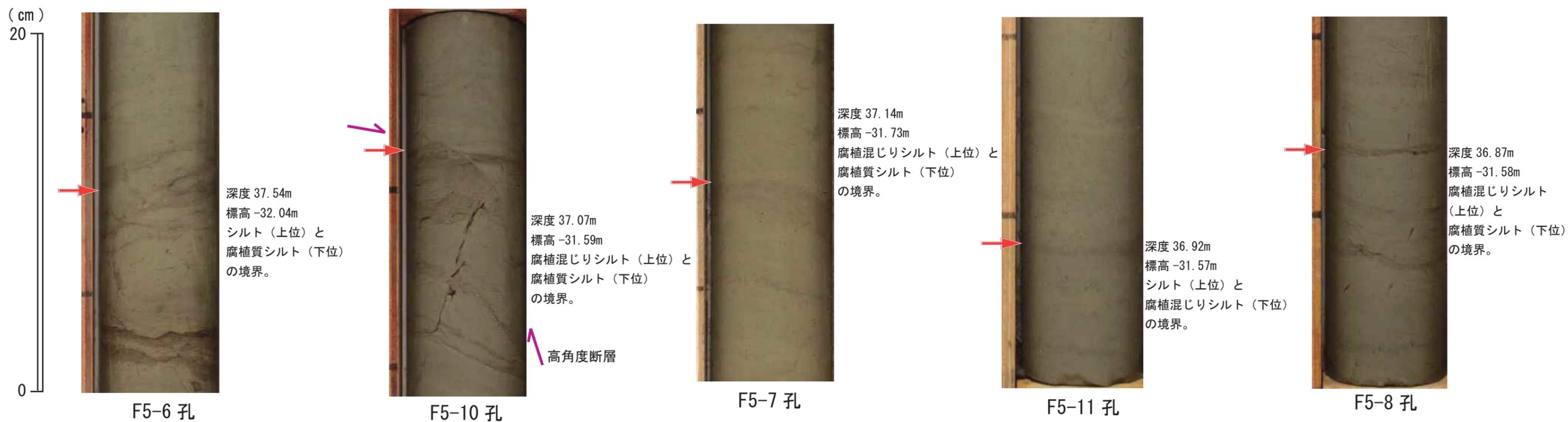
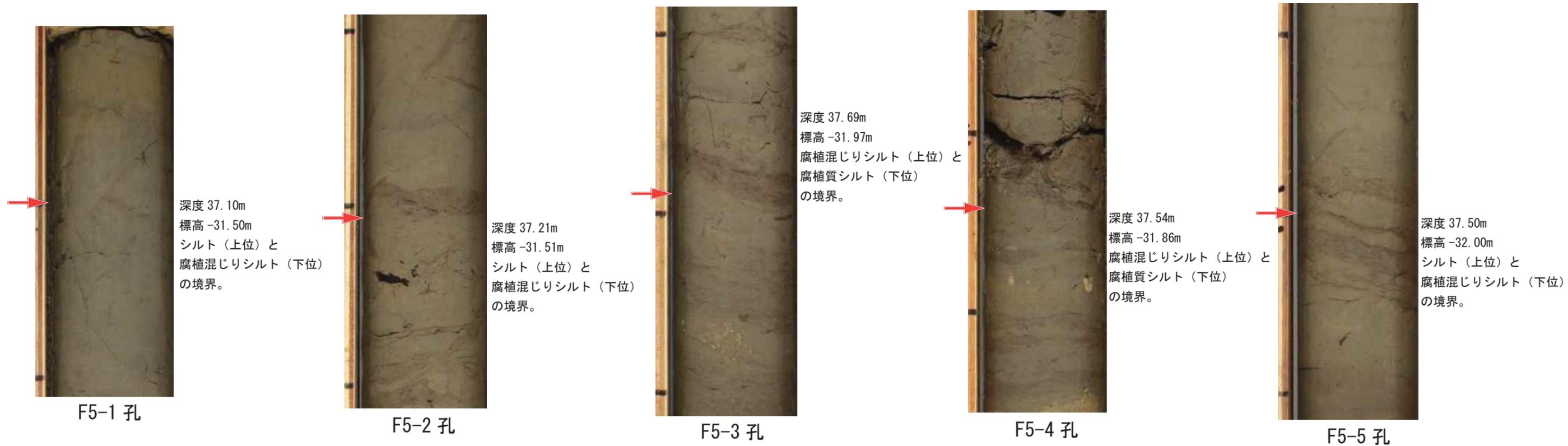
深度 37.43m
標高 -32.14m
腐植混じりシルト (上位)
と腐植質シルト (下位)
の境界。

F5-8 孔

④対比層の上位 50 cm程度に分布する層厚数cm程度の明瞭な腐植層を対比し、上限の深度を記載した。

断面図に記載した深度の位置

⑤古安田層中の腐植層の対比 (標高 -32m 付近)



④対比層から連続する腐植層（腐植質シルト）の縞状部の上限を対比した。

断面図に記載した深度の位置

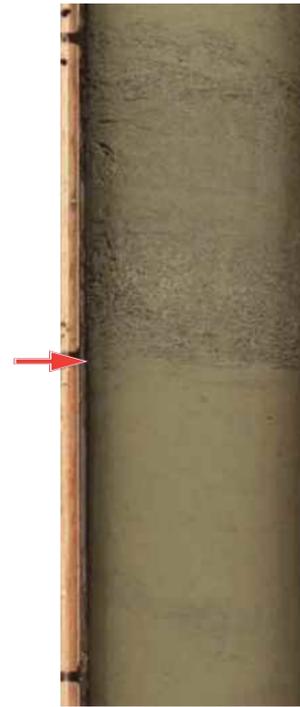
⑥古安田層中の腐植層の対比（標高 -32m 付近）

(cm)
20
0



深度 36.31m
標高 -30.83m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-10 孔



深度 36.60m
標高 -31.19m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-7 孔



深度 36.13m
標高 -30.78m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-11 孔



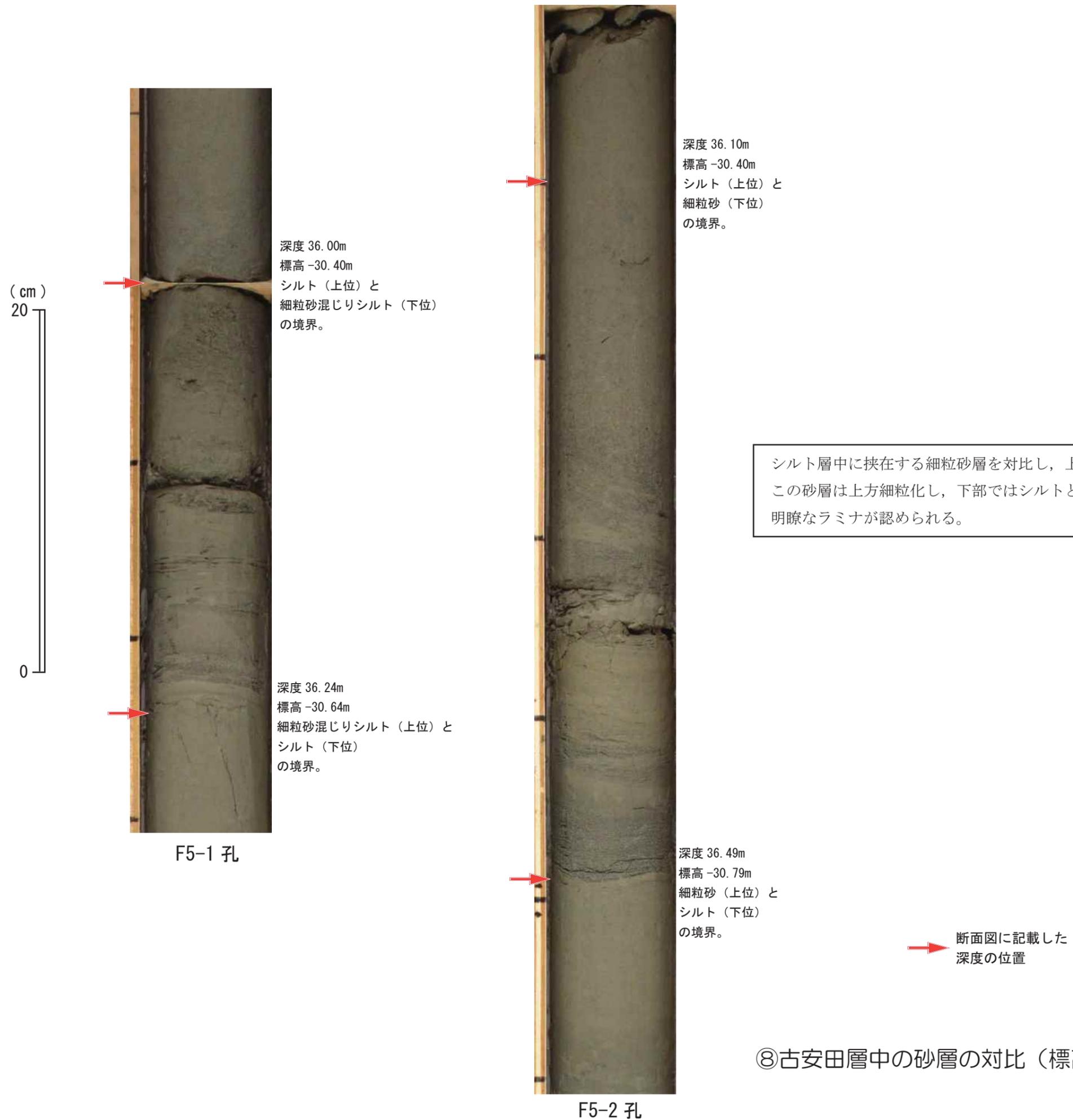
深度 36.29m
標高 -31.00m
シルト混じり細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-8 孔

細粒砂層（上位）とシルト層（下位）の境界を対比した。
砂層はラミナが認められる。

断面図に記載した
深度の位置

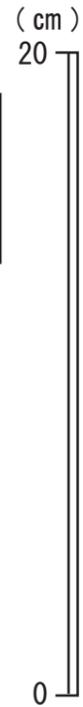
⑦古安田層中の砂層の対比（標高 -31m 付近）



⑧古安田層中の砂層の対比（標高 -31m 付近）

⑩

粗粒分（細粒砂～中粒砂）が卓越する層準（上位）と細粒分（細粒砂～シルト）が卓越する層準（下位）の境界を対比した。



深度 35.08m
標高 -29.36m
砂・シルト互層。
砂優勢（上位）と
シルト優勢（下位）
の境界。

F5-3 孔



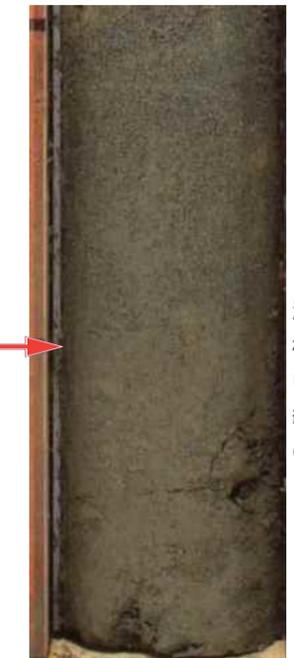
深度 35.03m
標高 -29.35m
細粒砂（上位）と
シルト混じり細粒砂
（下位）の境界。

F5-4 孔



深度 34.92m
標高 -29.42m
中粒砂（上位）と
細粒砂（下位）
の境界。

F5-5 孔

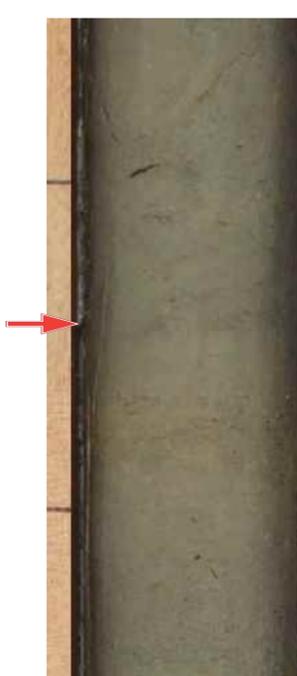


深度 34.90m
標高 -29.40m
中粒砂（上位）と
細粒砂（下位）
の境界。

F5-6 孔

⑨

粗粒分（細粒砂～シルト混じり細粒砂）が卓越する層準（上位）と細粒分（細粒砂質シルト～シルト）が卓越する層準（下位）の境界を対比した。



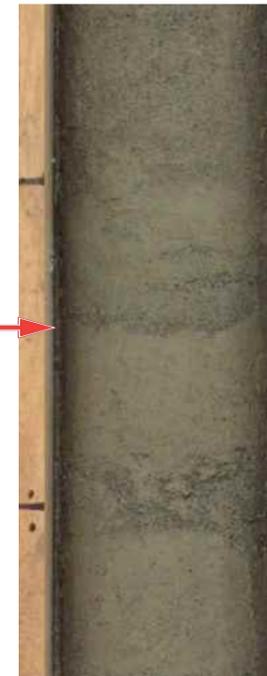
深度 35.34m
標高 -29.74m
細粒砂混じりシルト
（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-1 孔



深度 35.45m
標高 -29.75m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-2 孔



深度 35.45m
標高 -29.73m
シルト混じり細粒砂
（上位）と
細粒砂混じり
シルト（下位）
の境界。

F5-3 孔



深度 35.40m
標高 -29.72m
シルト混じり細粒砂
（上位）と
細粒砂質シルト
（下位）の境界。

F5-4 孔



深度 35.39m
標高 -29.89m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-5 孔



深度 35.47m
標高 -29.97m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-6 孔

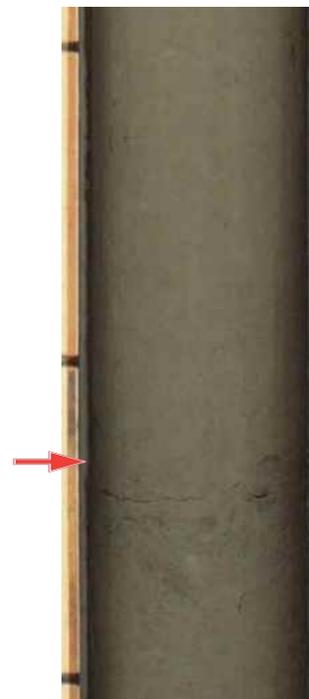
⑨⑩古安田層中の砂層の対比（標高 -30m 付近）

断面図に記載した
深度の位置



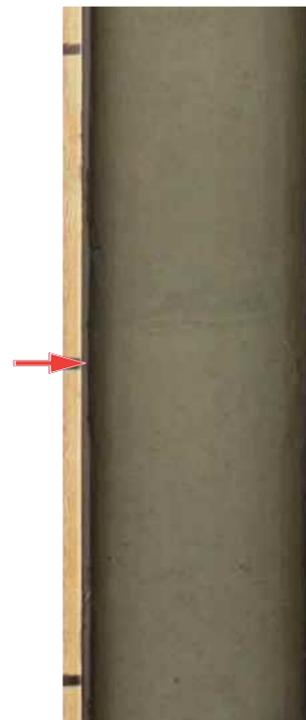
深度 33.80m
標高 -28.20m
シルト（上位）と
細粒砂混じりシルト（下位）
の境界。

F5-1 孔



深度 33.83m
標高 -28.13m
シルト（上位）と
細粒砂混じりシルト（下位）
の境界。

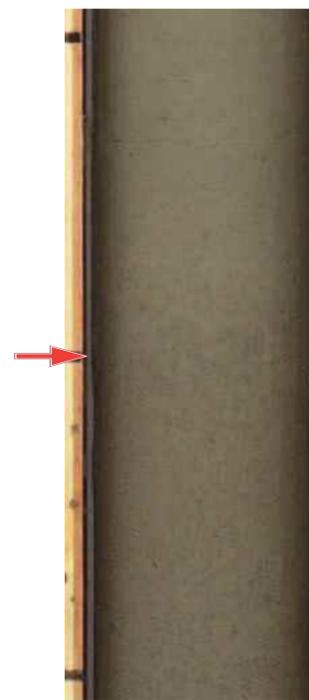
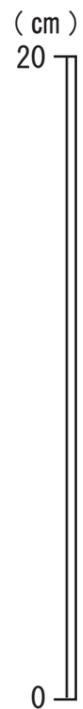
F5-2 孔



深度 33.80m
標高 -28.08m
シルト（上位）と
細粒砂混じりシルト（下位）
の境界。

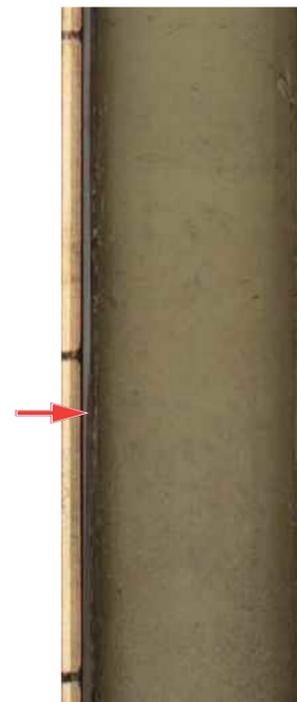
F5-3 孔

シルト（上位）と細粒砂～細粒砂混じりシルト（下位）の境界を対比した。
標高 -25m 以深はシルトが卓越しているが、この境界を境に砂勝ちとなる。



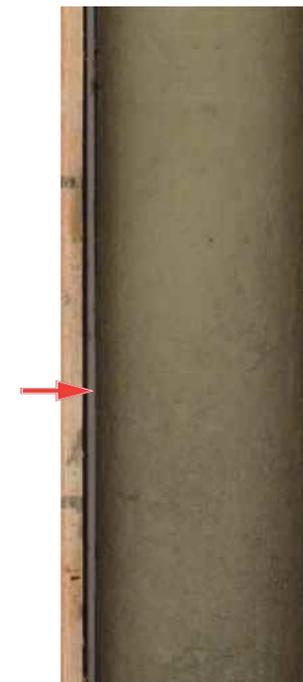
深度 33.70m
標高 -28.02m
シルト（上位）と
細粒砂（下位）
の境界。

F5-4 孔



深度 33.72m
標高 -28.22m
シルト（上位）と
細粒砂（下位）
の境界。

F5-5 孔

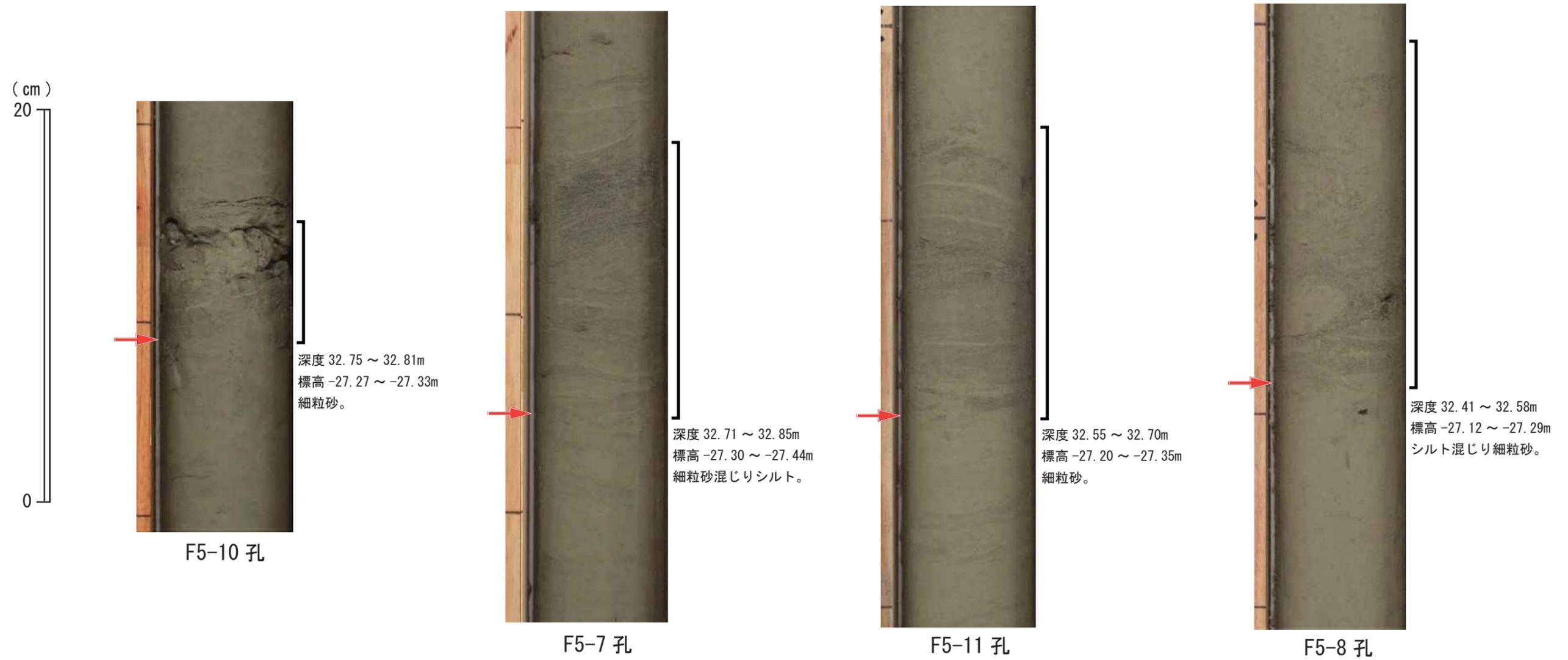


深度 33.77m
標高 -28.27m
シルト（上位）と
細粒砂（下位）
の境界。

F5-6 孔

⑪古安田層中の砂層の対比（標高 -28m 付近）

断面図に記載した
深度の位置

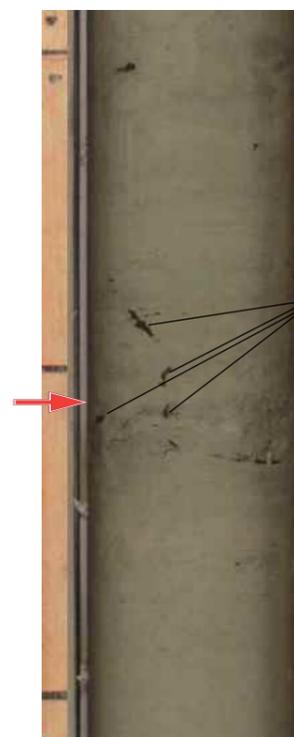


標高 -26m から -28m に分布するシルト勝ちな層準に挟在する砂勝ちな地層を対比し、下限の深度を記載した。
ラミナが認められる。

断面図に記載した
深度の位置

⑫古安田層中の砂層の対比（標高 -27m 付近）

(cm)
20
0



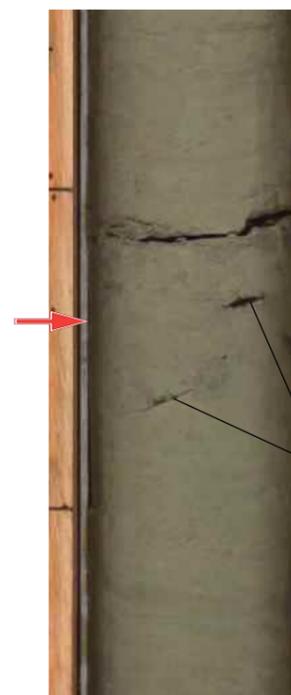
深度 32.60 ~ 32.62m
標高 -27.10 ~ -27.12m
細粒砂。
近傍に腐植物が点在。

F5-5 孔



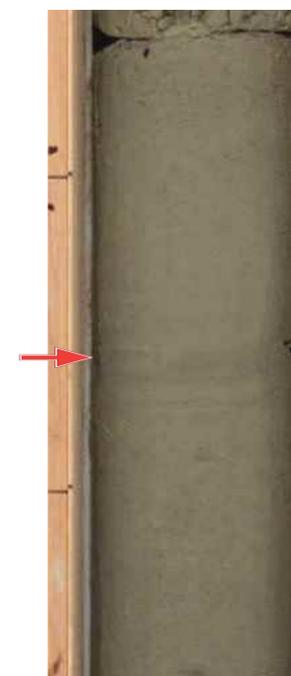
深度 32.59 ~ 32.66m
標高 -27.09 ~ -27.16m
細粒砂～シルト混じり細粒砂。
腐植物が点在。

F5-6 孔



深度 32.52 ~ 32.57m
標高 -27.04 ~ -27.09m
細粒砂～細粒砂混じりシルト。
腐植物が点在。

F5-10 孔



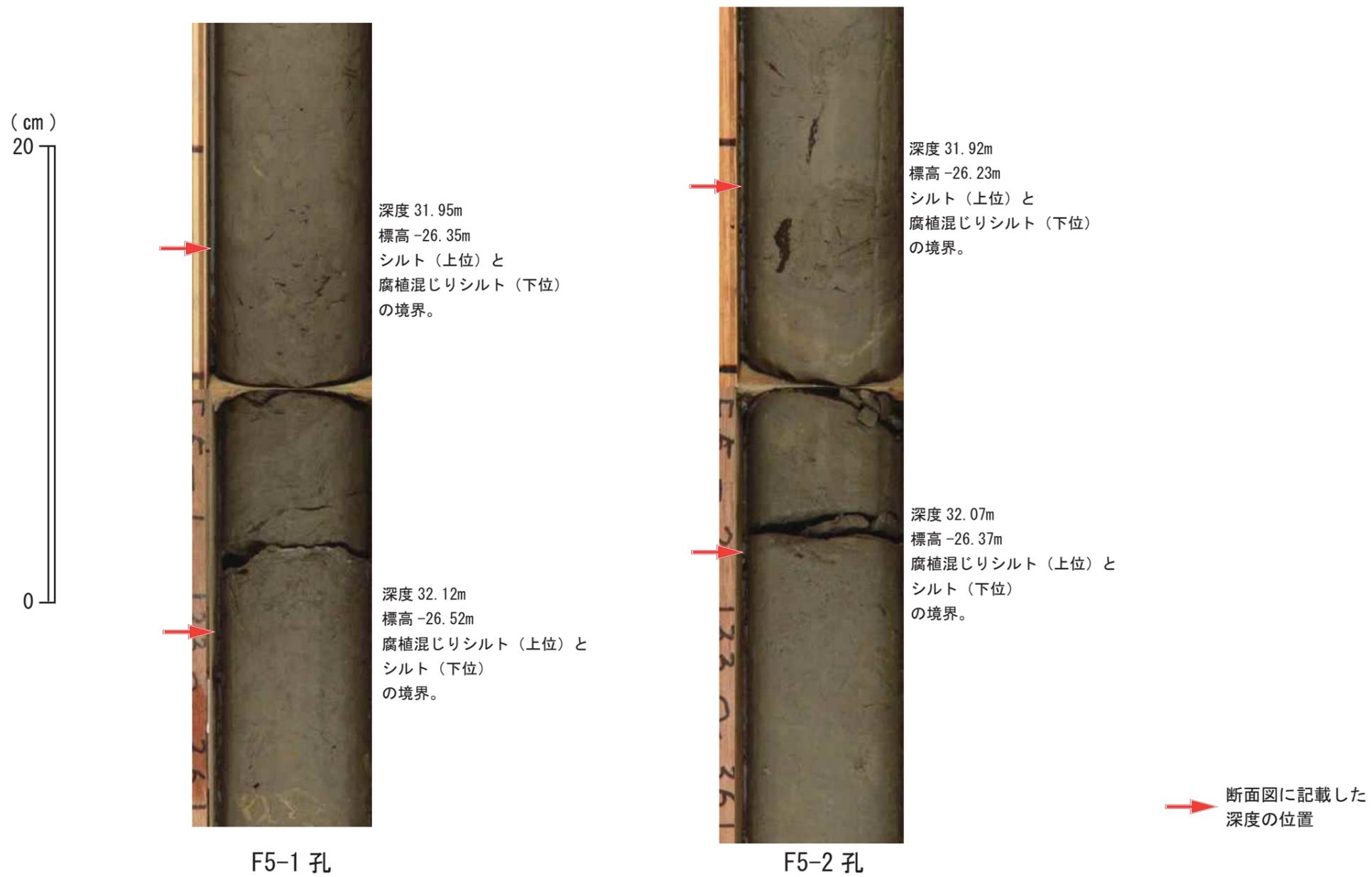
深度 32.55 ~ 32.56m
標高 -27.14 ~ -27.15m
シルト混じり細粒砂。
近傍に腐植物が点在。

F5-7 孔

シルト層中に挟在する細粒砂～細粒砂混じりシルトを対比した。
この砂層の近傍には腐植物が点在するのが特徴である。

断面図に記載した
深度の位置

⑬古安田層中の砂層の対比（標高 -27m 付近）



シルト層中に挟在される腐植質な地層（腐植混じりシルト）を対比した。
この層準付近には他に腐植質な地層はないため、特徴的である。
腐植混じりシルトの上限と下限の深度を記載した。

⑭古安田層中の腐植質シルト層の対比（標高 -26m 付近）

(cm)
20
0



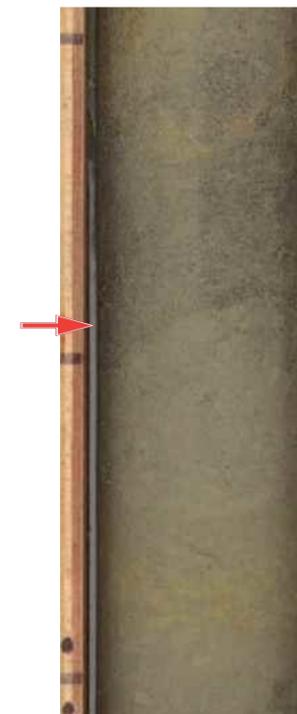
深度 31.73m
標高 -26.25m
細粒砂の下限。

F5-10 孔



深度 31.62m
標高 -26.21m
細粒砂の下限。

F5-7 孔



深度 31.39m
標高 -26.04m
シルト質細粒砂の下限。

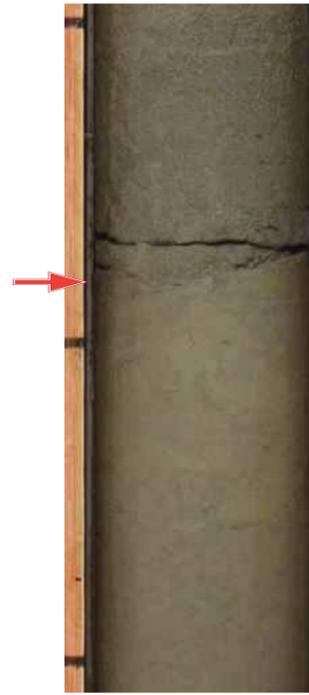
F5-11 孔

シルト～細粒砂混じりシルトに挟在するの細粒砂層を対比し、その下限の深度を記載した。

→ 断面図に記載した
深度の位置

⑮古安田層中の砂層の対比（標高 -26m 付近）

⑬



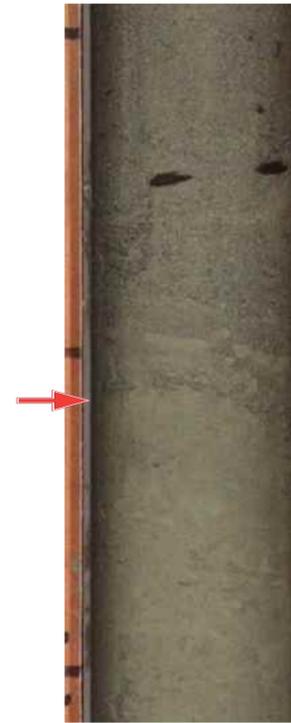
深度 30.68m
標高 -25.00m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-4 孔



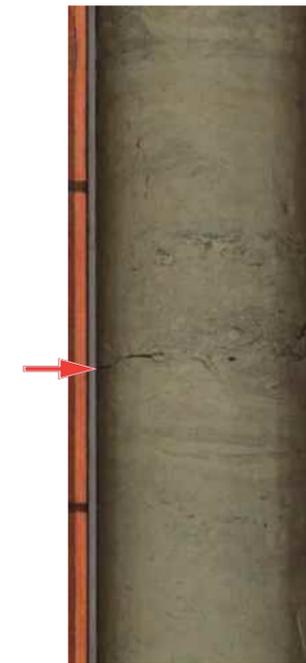
深度 30.48m
標高 -24.98m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-5 孔



深度 30.42m
標高 -24.92m
中粒砂（上位）と
シルト質細粒砂（下位）
の境界。

F5-6 孔



深度 30.36m
標高 -24.88m
細粒砂の下限。
下位は細粒砂混じりシルト。

F5-10 孔

⑬ 層厚 50 ~ 100 cm 程度の砂層とその下位のシルト勝ちな部分との境界を対比した。

⑭ 上記⑬の下位 30 cm 程度にノジュールを挟在する地層が認められる。

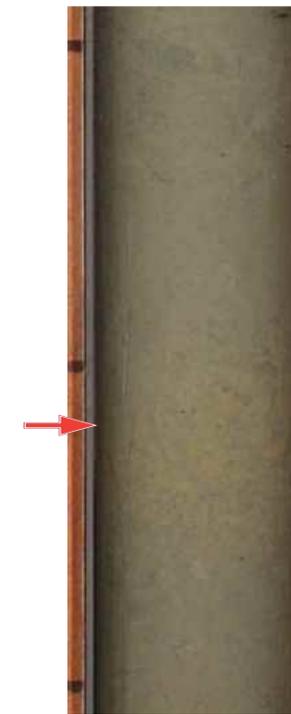
(cm)
20
0

⑭



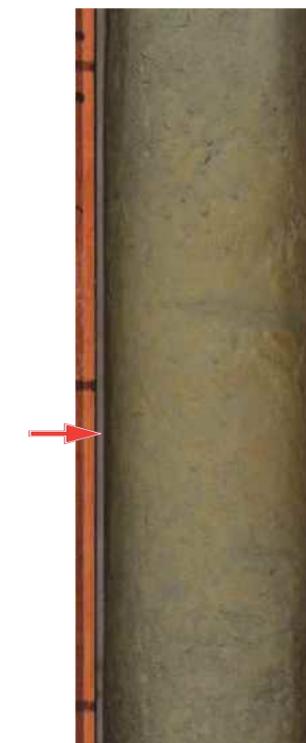
深度 30.73 ~ 30.82m
標高 -25.23 ~ -25.32m
ノジュールを挟む。

F5-5 孔



深度 30.69 ~ 30.75m
標高 -25.19 ~ -25.25m
ノジュールを挟む。

F5-6 孔



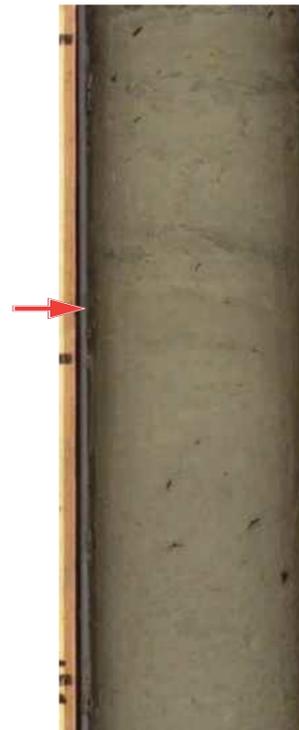
深度 30.53 ~ 30.70m
標高 -25.03 ~ -25.20m
ノジュールを挟む。

F5-10 孔

断面図に記載した
深度の位置

⑬⑭古安田層中の砂層，ノジュールの対比（標高 -25m 付近）

(cm)
20
0



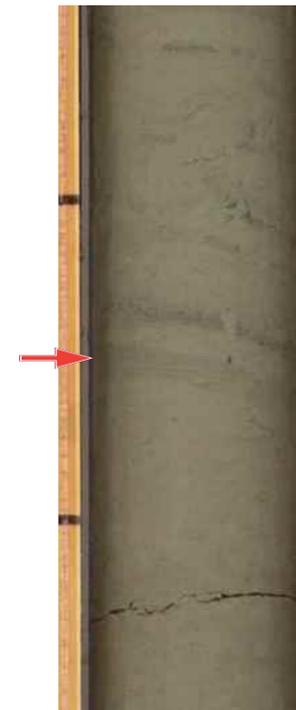
深度 30.38m
標高 -24.78m
細粒砂混じりシルト（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-1 孔



深度 30.41m
標高 -24.71m
細粒砂・シルト互層（上位）と
礫混じりシルト（下位）
の境界。

F5-2 孔



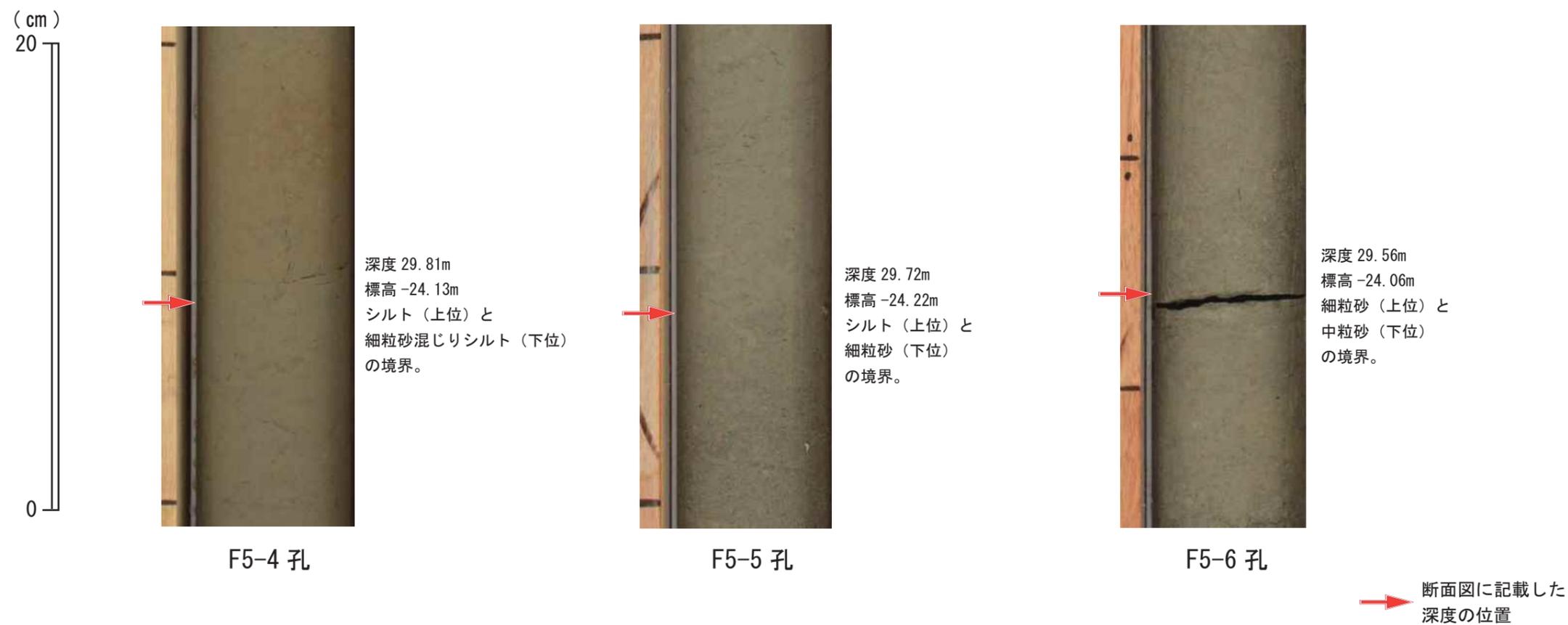
深度 30.35m
標高 -24.63m
細粒砂（上位）と
シルト（下位）
の境界。

F5-3 孔

断面図に記載した
深度の位置

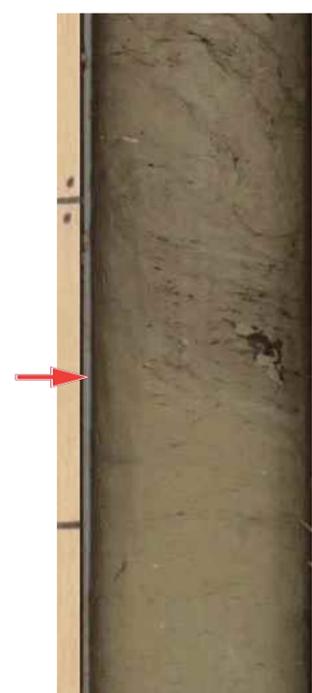
シルト層中に分布するシルト・細粒砂互層部を対比し、その下限の深度を記載した。
(F5-2 孔の散在する礫は、掘削時の乱れの可能性が高い。)

⑱古安田層中の砂層の対比（標高 -25m 付近）



細粒分（シルト～細粒砂）が卓越する層準（上位）と粗粒分（細粒砂混じりシルト～中粒砂）が卓越する層準（下位）の境界を対比した。

⑱古安田層中の砂層の対比（標高 -24m 付近）



深度 26.56m
標高 -20.96m
腐植混じりシルト (上位) と
シルト (下位)
の境界。

F5-1 孔



深度 26.50m
標高 -20.80m
腐植混じりシルト (上位) と
シルト (下位)
の境界。

F5-2 孔



深度 26.44m
標高 -20.72m
腐植混じりシルト (上位) と
シルト (下位)
の境界。

F5-3 孔



深度 26.45m
標高 -20.77m
腐植質シルト (上位) と
シルト (下位)
の境界。

F5-4 孔

(cm)
20
0



深度 26.39m
標高 -20.89m
腐植混じりシルト (上位) と
中粒砂混じりシルト (下位)
の境界。

F5-5 孔



深度 26.36m
標高 -20.86m
腐植混じりシルト (上位) と
シルト (下位)
の境界。

F5-6 孔



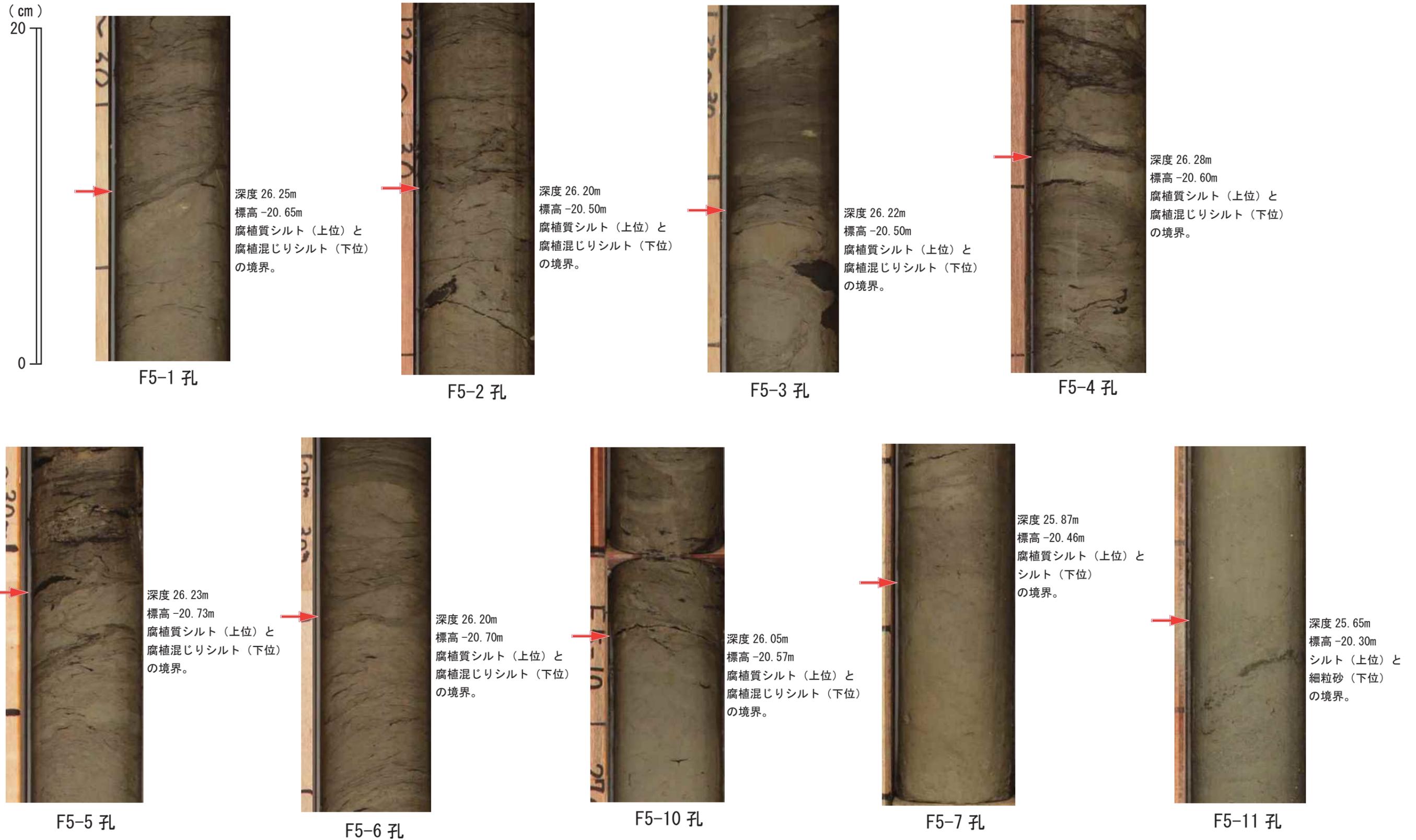
深度 26.26m
標高 -20.78m
腐植混じりシルト (上位) と
シルト (下位)
の境界。

F5-10 孔

腐植混りシルト (上位) とシルト (下位) との境界を対比した。

断面図に記載した
深度の位置

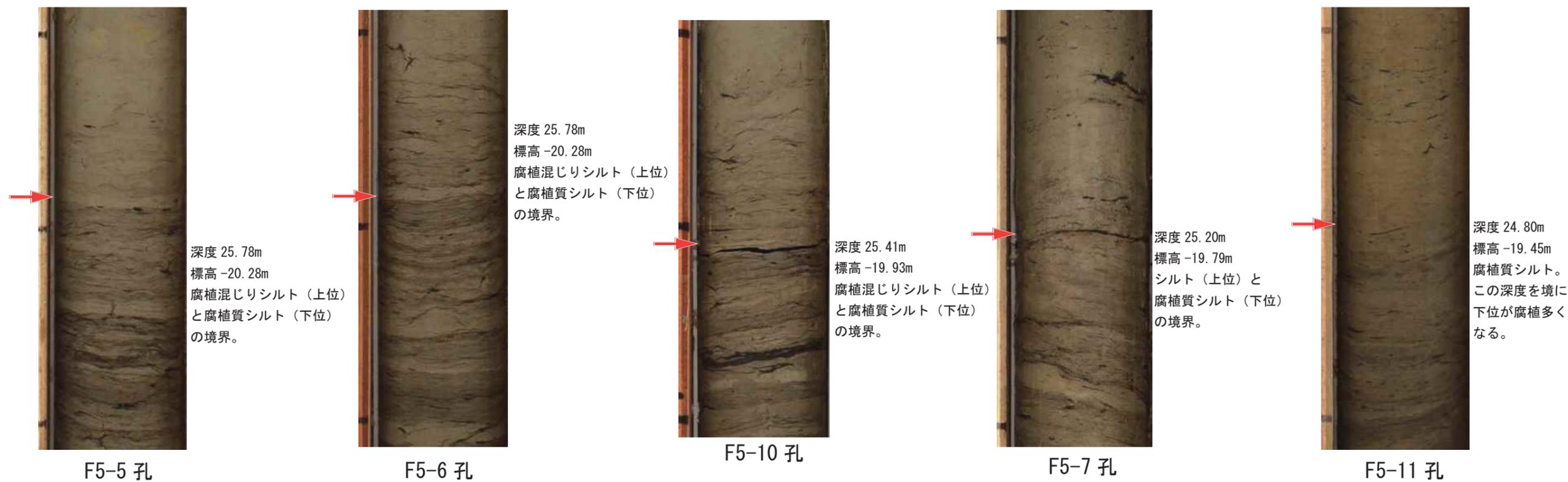
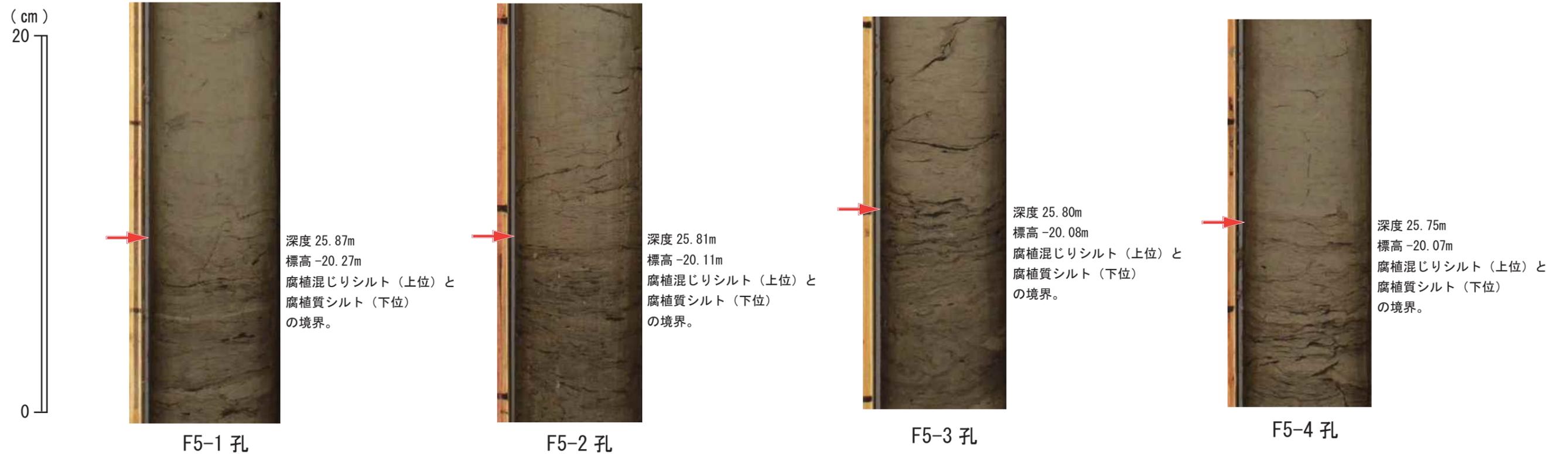
②古安田層中の腐植層の対比 (標高 -21m 付近)



②対比層の上位 30 cm程度に分布する層厚 30 ~ 50 cm程度の明瞭な縞状を呈する腐植層を対比した。
この縞状を呈する腐植層の下限の深度を記載した。

断面図に記載した
深度の位置

②古安田層中の腐植層の対比（標高 -21m 付近）



②対比層の上位 30 cm程度に分布する層厚 30 ~ 50 cm程度の明瞭な縞状を呈する腐植層を対比し、上限の深度を記載した。

断面図に記載した深度の位置

②古安田層中の腐植層の対比 (標高 -20m 付近)



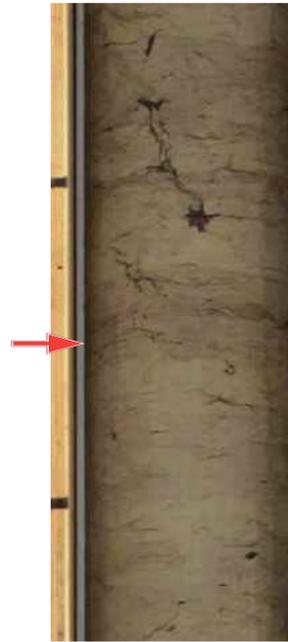
深度 25.50m
標高 -19.90m
腐植質シルト (上位) と
腐植混じりシルト (下位)
の境界。

F5-1 孔



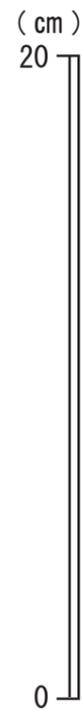
深度 25.39m
標高 -19.69m
腐植質シルト (上位) と
腐植混じりシルト (下位)
の境界。

F5-2 孔



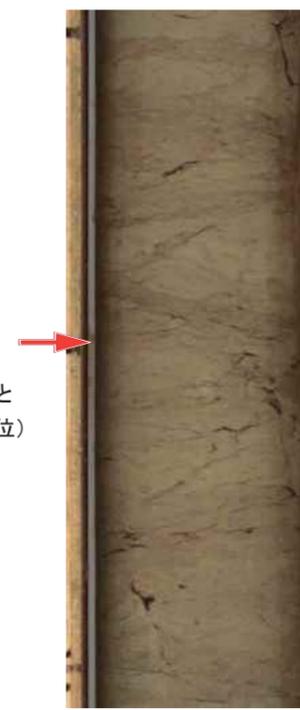
深度 25.35m
標高 -19.63m
腐植質シルト (上位) と
腐植混じりシルト (下位)
の境界。

F5-3 孔



深度 25.39m
標高 -19.71m
腐植質シルト (上位) と
腐植混じりシルト (下位)
の境界。

F5-4 孔



深度 25.40m
標高 -19.90m
腐植質シルト (上位) と
腐植混じりシルト (下位)
の境界。

F5-5 孔



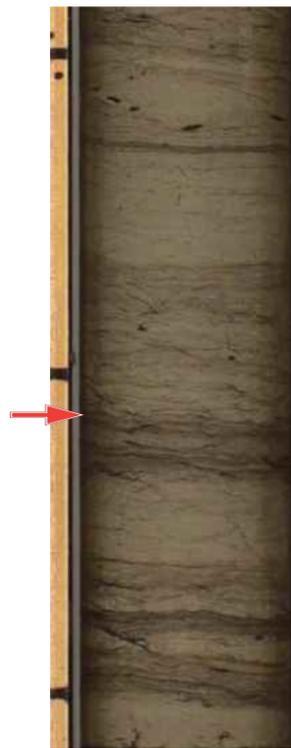
深度 25.37m
標高 -19.87m
腐植質シルト (上位) と
腐植混じりシルト (下位)
の境界。

F5-6 孔

縞状を呈する腐植層 (腐植質シルト) を対比し、下限の深度を記載した。

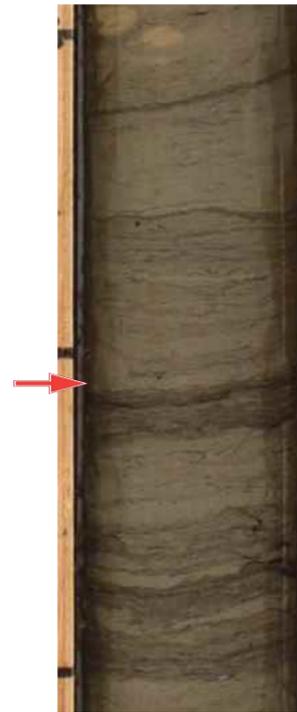
断面図に記載した
深度の位置

㊦古安田層中の腐植層の対比 (標高 -20m 付近)



深度 24.62m
標高 -18.90m
腐植質シルトの上限。
腐植が多く混じり、
明瞭な縞状となる。

F5-3 孔



深度 24.61m
標高 -18.93m
腐植質シルトの上限。
腐植が多く混じり、
明瞭な縞状となる。

F5-4 孔



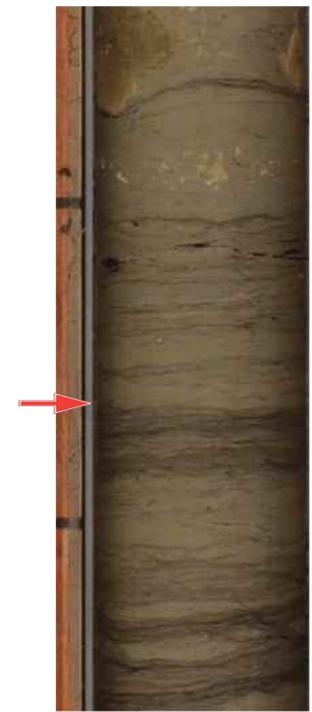
深度 24.51m
標高 -19.01m
腐植質シルトの上限。
腐植分多く含む。

F5-5' 孔



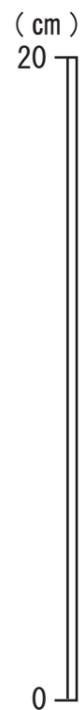
深度 24.64m
標高 -19.14m
腐植質シルトの上限。
腐植が多く混じり、
明瞭な縞状となる。

F5-5 孔



深度 24.57m
標高 -19.07m
腐植質シルトの上限。
腐植が多く混じり、
明瞭な縞状となる。

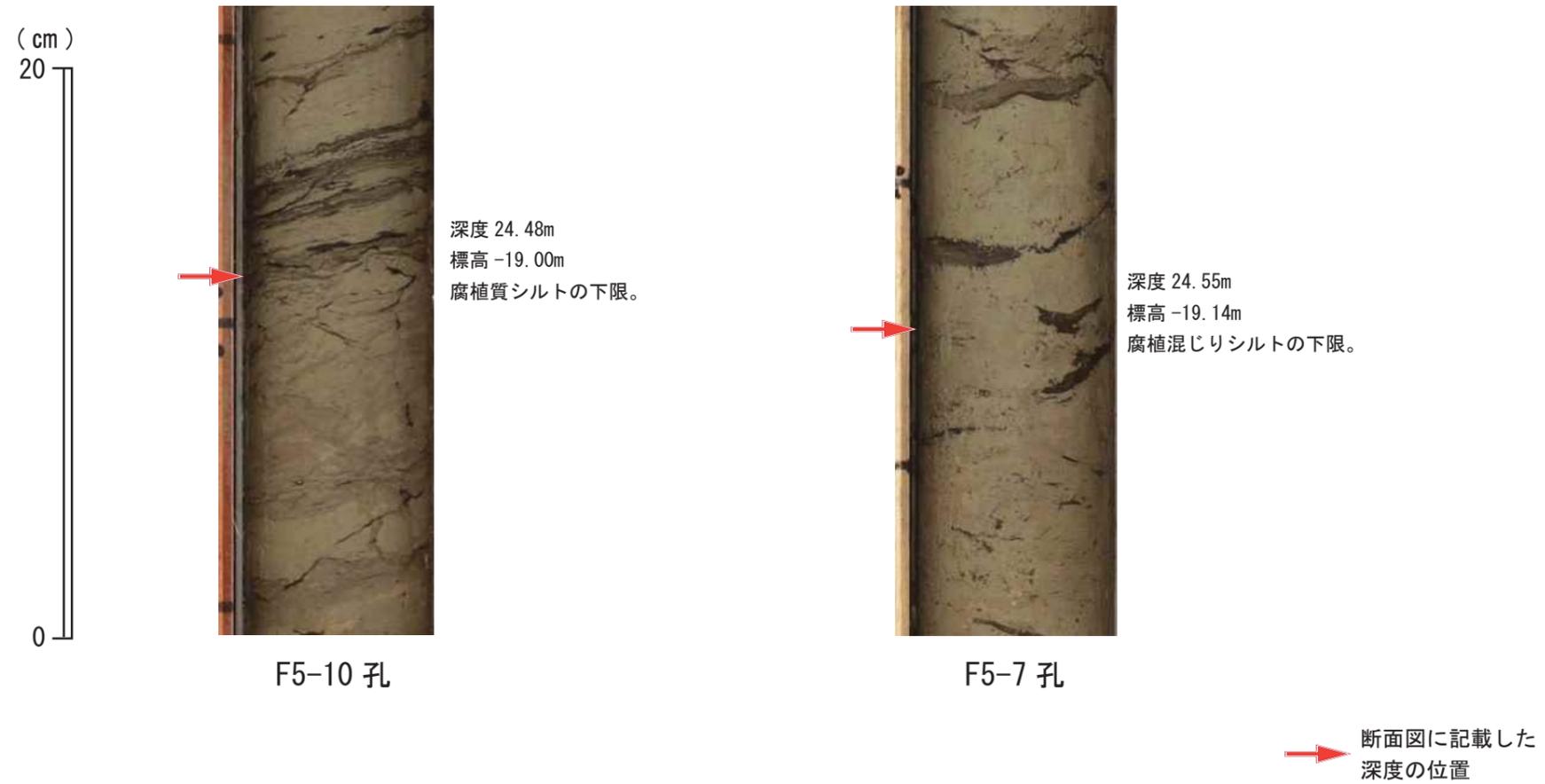
F5-6 孔



②対比層から連続する縞状を呈する腐植層（腐植質シルト）を対比し、上限の深度を記載した。

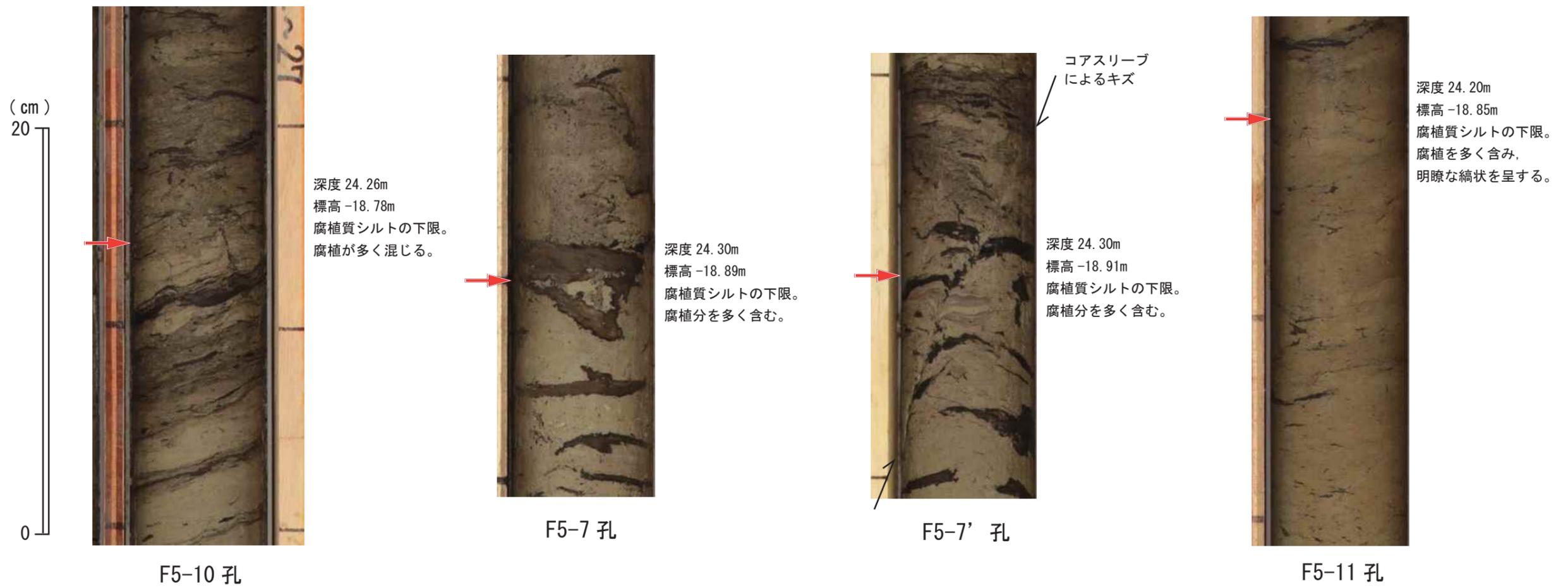
断面図に記載した
深度の位置

④古安田層中の腐植質シルト層の対比（標高 -19m 付近）



②⑥対比層の下位には縞状腐植層や腐植片を挟在する腐植質シルト～腐植混じりシルトが分布する。
この下限を対比し，その深度を記載した。

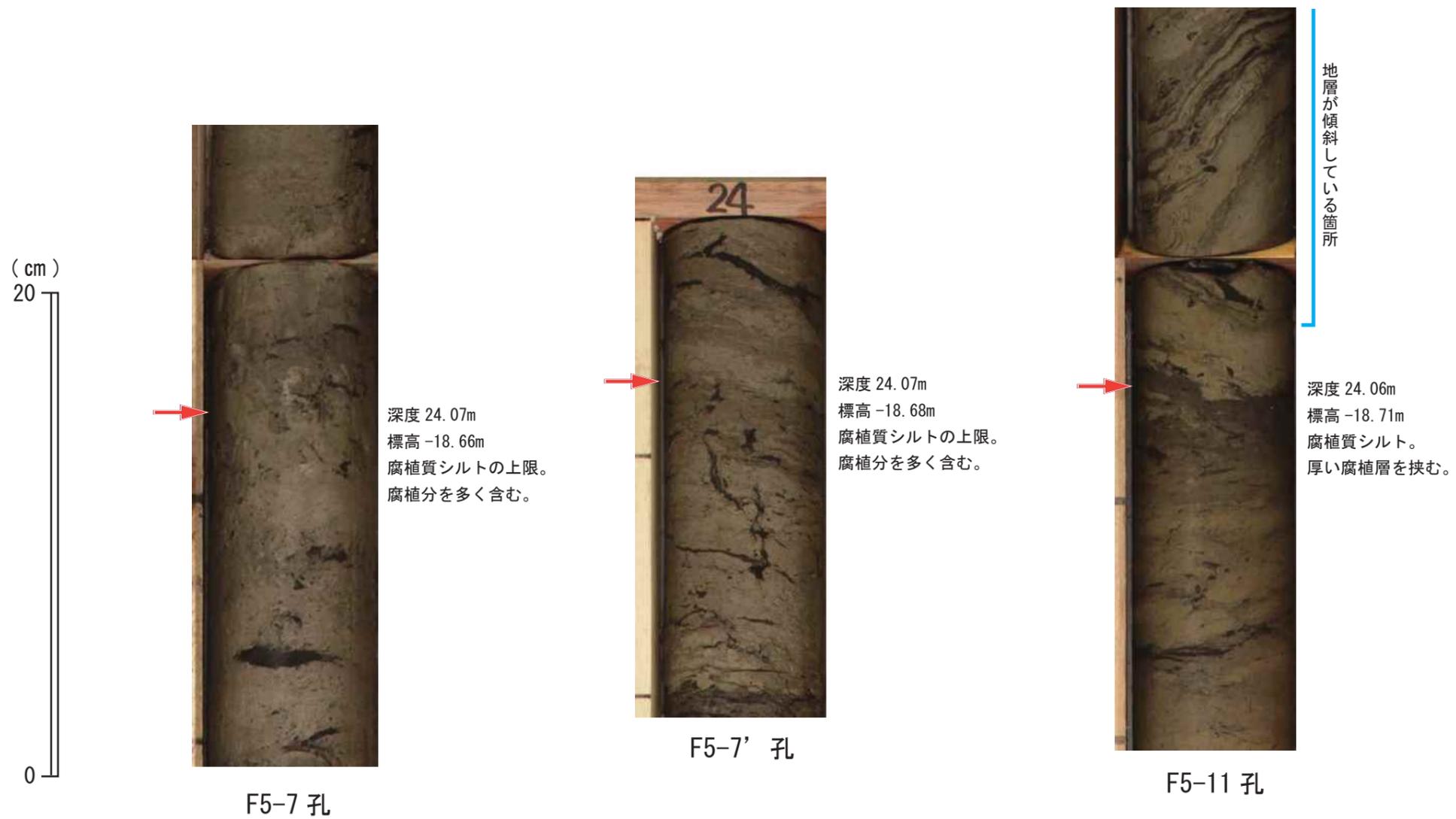
②⑤古安田層中の腐植質シルト層の対比（標高 -19m 付近）



①及び②対比層の上位に分布する腐植質シルトの下限を対比した。
 なお、F5-7' 孔の湾曲した筋状模様は、掘削時のスリーブによるキズであることを確認している。

→ 断面図に記載した
深度の位置

②古安田層中の腐植質シルト層の対比（標高 -19m 付近）

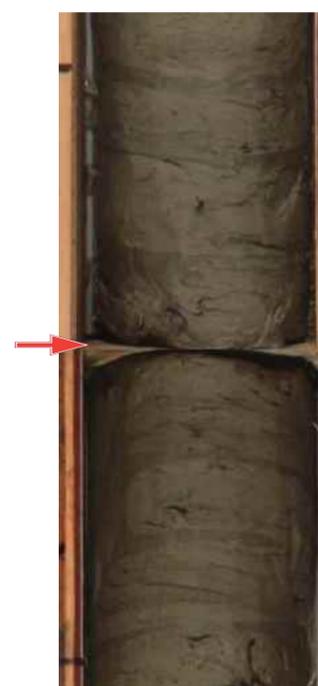


②⑥対比層で示した腐植質シルトの上限を対比した。

この付近を境に上位と下位で腐植層の層相が異なり、下位は腐植片が散在するが、上位は縞状を呈する腐植層を挟在する。

断面図に記載した
深度の位置

②⑦古安田層中の腐植質シルト層の対比（標高 -19m 付近）



深度 24.00m
標高 -18.40m
腐植質シルトの上限。
縞状を呈する。

F5-1 孔



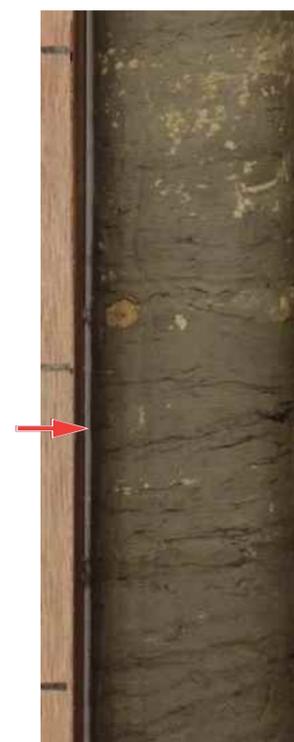
深度 24.00m
標高 -18.30m
腐植質シルトの上限。
縞状を呈する。

F5-2 孔



深度 23.95m
標高 -18.23m
腐植質シルトの上限。
縞状を呈する。

F5-3 孔



深度 23.82m
標高 -18.14m
腐植質シルトの上限。
縞状を呈する。

F5-4 孔



深度 23.83m
標高 -18.33m
腐植質シルトの上限。
縞状を呈する。

F5-5' 孔



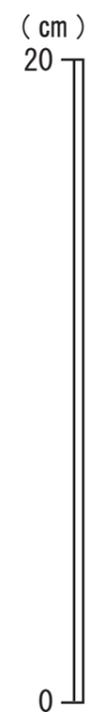
深度 23.93m
標高 -18.43m
腐植質シルトの上限。
縞状を呈する。

F5-5 孔



深度 23.86m
標高 -18.36m
腐植質シルトの上限。
縞状を呈する。

F5-6 孔



腐植混じりシルト（上位）と腐植質シルト（下位）の境界を対比した。
下位の腐植質シルトの方が、腐植濃度が高く、縞模様が濃い。

断面図に記載した
深度の位置

⑳古安田層中の腐植質シルト層の対比（標高 -18m 付近）

(cm)
20
0



深度 23.27m
標高 -17.92m
腐植質シルトの下限。
腐植を多く含み、
縞状を呈する。

F5-11 孔



深度 23.36m
標高 -18.07m
腐植質シルトの下限。
腐植を多く含み、
縞状を呈する。

F5-8 孔

→ 断面図に記載した
深度の位置

明瞭な縞状を呈する腐植層を対比し、下限の深度を記載した。

②古安田層中の腐植質シルト層の対比（標高 -18m 付近）

(cm)
20
0



F5-11 孔

深度 22.94m
標高 -17.59m
腐植質シルトの上限。
腐植を多く含み、
縞状を呈する。



F5-8 孔

深度 22.81m
標高 -17.52m
腐植質シルトの上限。
腐植を多く含み、
縞状を呈する。

断面図に記載した
深度の位置

②⑨対比層から連続する明瞭な縞状を呈する腐植層（腐植質シルト）を対比し、上限の深度を記載した。

③⑩古安田層中の腐植質シルト層の対比（標高 -17m 付近）

(cm)
20
0



深度 22.83m
標高 -17.13m
ノジュール分布の下限。

F5-2 孔



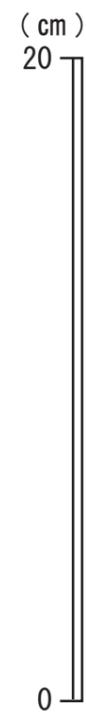
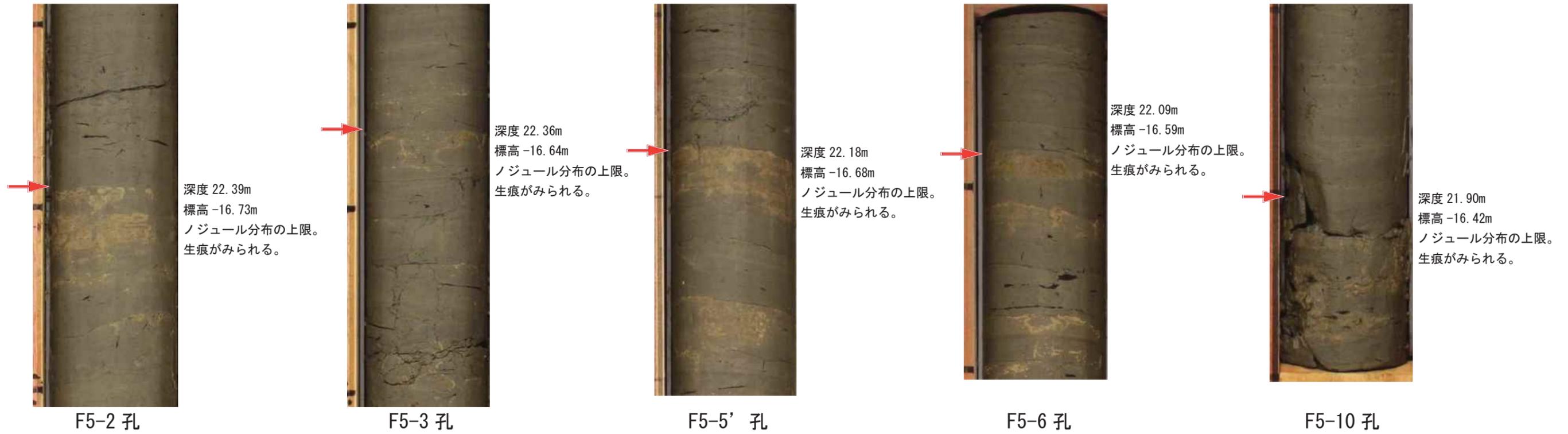
深度 22.80m
標高 -17.08m
ノジュール分布の下限。

F5-3 孔

断面図に記載した
深度の位置

ノジュールがパッチ状及び層状に連続する区間（約 50 cm厚）の下限を対比した。
両孔に隣接する F5-1 孔及び F5-4 孔においては、ノジュールの発達あまり良くない。

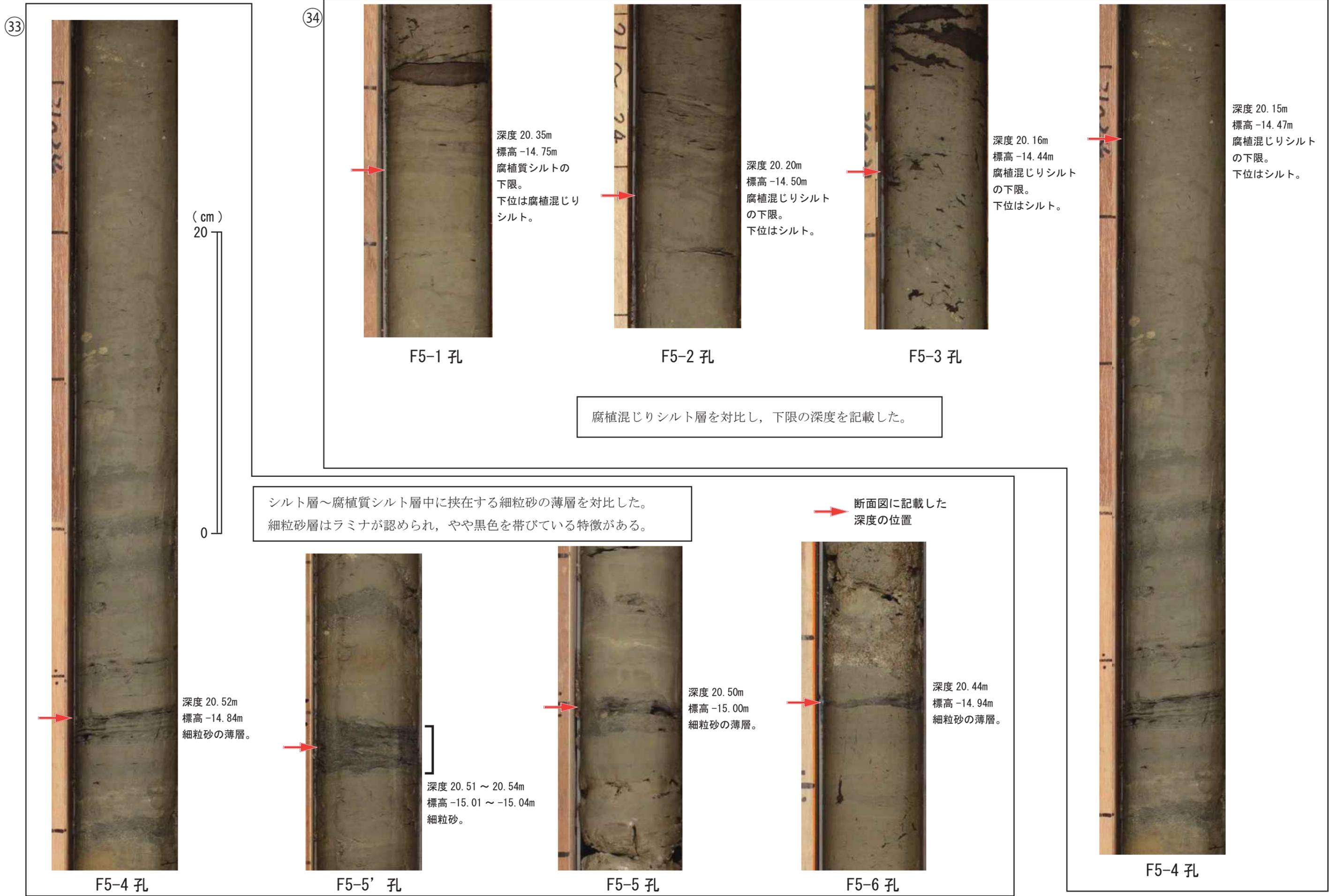
③古安田層中のノジュールの対比（標高 -17m 付近）



→ 断面図に記載した
深度の位置

ノジュールがパッチ状及び層状に連続する区間（約 50 cm厚）の上限を対比した。
生痕がみられる。

③古安田層中のノジュールの対比（標高 -17m 付近）



33

34

(cm)
20
0

深度 20.35m
標高 -14.75m
腐植質シルトの
下限。
下位は腐植混じり
シルト。

深度 20.20m
標高 -14.50m
腐植混じりシルト
の下限。
下位はシルト。

深度 20.16m
標高 -14.44m
腐植混じりシルト
の下限。
下位はシルト。

深度 20.15m
標高 -14.47m
腐植混じりシルト
の下限。
下位はシルト。

F5-1 孔

F5-2 孔

F5-3 孔

腐植混じりシルト層を対比し、下限の深度を記載した。

シルト層～腐植質シルト層中に挟在する細粒砂の薄層を対比した。
細粒砂層はラミナが認められ、やや黒色を帯びている特徴がある。

断面図に記載した
深度の位置

深度 20.52m
標高 -14.84m
細粒砂の薄層。

深度 20.51 ~ 20.54m
標高 -15.01 ~ -15.04m
細粒砂。

深度 20.50m
標高 -15.00m
細粒砂の薄層。

深度 20.44m
標高 -14.94m
細粒砂の薄層。

F5-4 孔

F5-5' 孔

F5-5 孔

F5-6 孔

F5-4 孔

33③4古安田層中の腐植質シルト層や細粒砂層の対比（標高 -15m 付近）

孔名 : F5-1

孔口標高 T. M. S. L. +5. 60m

掘進長 64. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17. 00~50. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
18.78	-13.18		埋め戻し土		17
20			古安田層	<p>18.78~46.34 古安田層。シルト~砂質シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。 18.78~19.21 シルト。ラミナがみられる。 19.21~20.35 腐植質シルト。 19.37 層厚3mmの灰色細粒火山灰を挟む(結晶質テフラ)。 20.06~20.08 層厚15mmの灰白色細粒火山灰を挟む(Ata-Th)。 20.35~24.00 腐植混じりシルト。</p> <p>24.00~25.50 腐植質シルト。縞状を呈する。</p> <p>25.50~25.87 腐植混じりシルト。 25.87~26.25 腐植質シルト。縞状を呈する。 26.25~26.56 腐植混じりシルト。不明瞭な縞状を呈する。 26.56~29.40 シルト。塊状である。</p> <p>29.40~29.97 中粒砂。シルトが混じる。 29.97~30.19 砂礫。基質にシルトが混じる。 30.19~30.38 細粒砂混じりシルト。 30.38~31.95 シルト。</p> <p>31.95~32.12 腐植混じりシルト。 32.12~33.80 シルト。</p> <p>33.80~34.63 細粒砂混じりシルト。 34.63~34.72 細粒砂。 34.72~35.34 細粒砂混じりシルト。 35.34~36.00 シルト。 36.00~36.24 細粒砂混じりシルト。 36.24~37.10 シルト。</p> <p>37.10~37.45 腐植混じりシルト。腐植質シルトを縞状に挟む。 37.45~37.50 腐植質シルト。 37.50~37.90 腐植混じりシルト。 37.90~37.98 腐植質シルト。縞状を呈する。 37.98~38.70 腐植混じりシルト。 38.70~40.00 シルト。</p> <p>40.00~40.79 腐植混じりシルト。細粒砂を多く挟む。 40.79~41.50 シルト。塊状である。 41.50~41.93 細粒砂。上部にシルト礫層を含む。 41.93~42.48 シルト。 42.48~43.78 細粒砂。上部にラミナがみられる。 43.78~44.44 シルト。下部に細粒砂を挟む。 44.44~45.10 シルト混じり細粒砂。 45.10~46.30 細粒砂混じり中粒砂。上部にシルトを挟む。</p> <p>46.30~46.34 砂礫。径4mm程度(最大26mm)の垂円礫を多く含む。</p>	
46.34	-40.74		西山層	<p>46.34~64.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。 46.38~46.70 径0.5~1mm程度の軽石を含む(Np-7)。</p>	46
					47
					48
					49
					50

孔名 : F5-2

孔口標高 T. M. S. L. +5. 70m

掘進長 62. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17. 00~50. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
19.80	-14.10		埋め戻し土		17
20			古安田層	19.80~46.73 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。 19.80~20.20 腐植混じりシルト。 20.20~21.35 シルト。 21.35~24.00 腐植混じりシルト。 22.39~22.83 生痕が多く分布し、ノジュールもみられる。 24.00~25.39 腐植質シルト。縞状を呈する。 25.39~25.81 腐植混じりシルト。 25.81~26.20 腐植質シルト。縞状を呈する。 26.20~26.50 腐植混じりシルト。不明瞭な縞状を呈する。 26.50~27.35 シルト。 27.35~28.40 シルト質中粒砂。 28.40~28.51 砂礫。 28.51~29.60 シルト。塊状である。 29.60~30.41 細粒砂・シルト互層。 30.41~30.50 礫混じりシルト。 30.50~31.92 シルト。一部にラミナがみられる。 31.92~32.07 腐植混じりシルト。 32.07~33.83 シルト。 33.83~34.30 細粒砂混じりシルト。 34.30~35.45 細粒砂。シルトが混じり、下部にシルトを挟む。 35.25 断層。傾斜70°。フィルム〜幅0.2mmの粘土を伴う。 35.45~36.10 シルト。細粒砂を挟む。 36.10~36.49 細粒砂。下部にラミナがみられる。 36.49~37.21 シルト。一部にラミナがみられる。 37.21~38.87 腐植混じりシルト。 37.21~38.23 腐植質シルトを縞状に挟む。 37.37 層厚10mmの灰白色細粒火山灰を挟む (Kkt)。 37.67~37.70 腐植質シルトを挟む。 38.87~39.75 シルト。不明瞭なラミナがみられる。 39.75~41.60 腐植混じりシルト。 39.85~41.07 腐植質シルトを多く挟む。 41.60~42.10 細粒砂。中部に植物片を多く含む。 42.10~42.20 腐植混じりシルト。 42.20~42.83 シルト。 42.83~46.13 細粒砂。シルトを多く挟む。 46.13~46.60 粗粒砂。 46.60~46.73 砂礫。径2~20mm(最大40mm)の垂円礫を主体とする。 46.73~62.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。 49.00 断層。傾斜23°。幅22~57mmの粘土及び幅25~70mmの細片状破砕部を伴う(F5)。 49.13~49.24 層状ノジュールを挟む。	18
					18
					19
					19
					20
					20
					21
					21
					22
					22
					23
					23
					24
					24
					25
					25
					26
					26
					27
					27
					28
					28
					29
					29
					30
					30
					31
					31
					32
					32
					33
					33
					34
					34
					35
					35
					36
					36
					37
					37
					38
					38
					39
					39
					40
					40
					41
					41
					42
					42
					43
					43
					44
					44
					45
					45
					46
					46
					47
					47
					48
					48
					49
					49
					50

孔名 : F5-3

孔口標高 T. M. S. L. +5.72m

掘進長 60.00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17.00~50.00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
			盛土・埋め戻し土		17
19.96	-14.24				18
20			古安田層	19.96~46.55 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。 19.96~20.16 腐植混じりシルト。 20.16~21.25 シルト。 21.25~23.95 腐植混じりシルト。 22.36~22.80 生痕が多くみられ、ノジュールもみられる。 23.95~25.35 腐植質シルト。縞状を呈する。 24.62~25.35 腐植が多く混じり、明瞭な縞状となる。 25.35~25.80 腐植混じりシルト。 25.80~26.22 腐植質シルト。 A 26.22~26.44 腐植混じりシルト。 26.44~27.52 シルト 27.52~28.10 中粒砂。不明瞭なラミナがみられる。上部に植物片を多く含む。 28.10~28.30 砂礫。基質にシルトが混じる。 B 28.30~28.55 シルト質中粒砂。 28.55~29.96 シルト。一部に不明瞭なラミナがみられる。 29.96~30.35 細粒砂。 30.35~30.65 シルト。塊状である。 30.65~31.29 シルト質中粒砂。ラミナがみられる。 31.29~33.80 シルト。一部に不明瞭なラミナがみられる。 33.80~33.91 細粒砂混じりシルト。 33.91~34.08 細粒砂。 34.08~35.08 中粒砂・細粒砂混じりシルト互層。砂が優勢。 35.08~35.45 中粒砂・細粒砂混じりシルト互層。シルトが優勢。 35.45~35.82 細粒砂混じりシルト 35.82~36.40 シルト。所々に細粒砂の薄層を挟む。 36.40~36.73 細粒砂。 36.73~37.60 シルト。上部は細粒砂と互層する。 37.60~39.00 腐植混じりシルト。 37.69~38.71 腐植質シルトを縞状に挟む。 C 38.18~38.22 腐植が多く混じる。 38.70 断層。傾斜65~90°。一部にフィルム~幅0.5mmの暗灰色粘土を伴う。 39.00~40.15 シルト。最上部に腐植が混じる。 39.25 断層。傾斜80~90°。フィルム~幅0.3mmの暗灰色粘土を伴う。 40.15~41.87 腐植混じりシルト。 40.38~41.24 腐植質シルトを多く挟む。 D 41.24~41.57 腐植質シルトを縞状に挟む。 41.87~42.15 細粒砂。 42.15~42.20 腐植混じりシルト。 42.20~42.35 シルト。 42.35~43.78 細~中粒砂。 43.78~44.22 シルト。下部に細粒砂を挟む。 44.22~44.83 シルト質中粒砂。所々に中粒砂質シルトを挟む。 44.83~46.00 シルト質細粒砂。ラミナがみられる。基底部に木片を含む。 46.00~46.39 粗粒砂。シルトがわずかに混じる。 46.39~46.55 砂礫。径2~10mm(最大90mm)の円~角礫を主体とする。 46.55~60.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。 47.31~47.36 断層。傾斜25°。幅40~50mmの粘土(一部鱗片状)を伴う(Fs)。 48.05~60.00 不明瞭なラミナがみられる。 47.51~47.62 層状ノジュールを挟む。	18
			西山層		19
					20
					21
					22
					23
					24
					25
					26
					27
					28
					29
					30
					31
					32
					33
					34
					35
					36
					37
					38
					39
					40
					41
					42
					43
					44
					45
					46
					47
					48
					49
					50

孔名 : F5-4

孔口標高 T. M. S. L. +5. 68m

掘進長 58. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17. 00~50. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真	
19.91	-14.23		盛土・埋め戻し土		17	
20			古安田層	19.91~46.42 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。 19.91~20.15 腐植混じりシルト。 20.15~21.44 シルト。 20.52 細粒砂の薄層を挟む。 21.44~23.82 腐植混じりシルト。 23.82~25.39 腐植質シルト。縞状を呈する。 24.61~25.39 腐植が多く混じり、明瞭な縞状となる。 25.39~25.75 腐植混じりシルト。 25.75~26.28 腐植質シルト。縞状を呈する。 A 26.28~26.45 腐植混じりシルト。 26.45~27.42 シルト。塊状である。 27.42~28.11 中~粗粒砂。わずかにシルトが混じる。 28.11~28.24 砂礫。基質にシルトが混じる。 B 28.24~28.85 シルト。 28.85~29.41 細粒砂。 29.41~29.81 シルト。 29.81~30.32 細粒砂混じりシルト。 30.32~30.68 細粒砂。 30.68~33.70 シルト。所々に不明瞭なラミナがみられる。 33.70~34.47 細粒砂。シルトがわずかに混じる。 34.47~34.86 中粒砂。一部にシルトが混じる。 34.86~35.03 細粒砂。 35.03~35.40 シルト混じり細粒砂。 35.40~35.78 細粒砂質シルト。 35.78~36.38 シルト。 36.38~36.60 細粒砂。 36.60~37.35 シルト。 37.35~39.55 腐植混じりシルト。 37.54~38.59 腐植質シルトを縞状に挟む。 37.67 細粒火山灰を層厚10~20mmのレンズ状に挟む(Kkt)。 C 38.08~38.14 腐植が多く混じる。 38.67 断層。傾斜80~90°。フィルム~幅0.1mmの暗灰色粘土を伴う。 39.16 断層。傾斜60~70°。フィルム~幅0.1mmの暗灰色粘土を伴う。 39.55~40.16 細粒砂混じりシルト。 40.16~41.63 腐植混じりシルト。 40.50~41.14 腐植質シルトを多く挟む。 D 41.14~41.45 腐植質シルトを縞状に挟む。 41.63~41.75 シルト。 41.75~42.16 細粒砂。 42.16~42.18 シルト。 42.18~42.36 腐植混じりシルト。 42.36~42.50 シルト。 42.50~43.17 細粒砂。 43.17~43.45 シルト。 43.45~44.04 細粒砂。シルトの薄層を多く挟む。 44.04~44.82 細~中粒砂・シルト互層。 44.82~45.64 細粒砂。ラミナがみられ、所々にシルトが混じる。 45.64~46.23 粗粒砂。 46.23~46.42 砂礫。径2~20mm(最大40mm)の円~垂角礫を主体とする。	18	
						19
						20
						21
						22
						23
						24
						25
						26
						27
						28
						29
						30
						31
						32
						33
						34
						35
						36
						37
						38
						39
						40
						41
						42
						43
						44
						45
						46
46.42	-40.74			西山層	46.42~58.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。 46.42 断層。傾斜18°。幅2~3mmの粘土を伴う(F5)。 46.48~46.51 ノジュールを挟む。	46
						47
						48
						49
					50	

孔名 : F5-5

孔口標高 T. M. S. L. +5. 50m

掘進長 49. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17. 00~49. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真	
19.87	-14.37		盛土・埋め戻し土		17	18
20			古安田層	19.87~45.85 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。 19.87~22.30 シルト。 20.50 細粒砂の薄層を挟む。	18	19
				22.30~23.12 コア欠如。	19	20
				23.12~23.93 シルト。	20	21
				23.93~25.40 腐植質シルト。縞状を呈する。	21	22
				24.64~25.40 腐植が多く混じり、明瞭な縞状となる。	22	23
25				25.40~25.78 腐植混じりシルト。 25.78~26.23 腐植質シルト。縞状を呈する。 A	23	24
				26.23~26.39 腐植混じりシルト。 26.39~27.35 中粒砂混じりシルト。	24	25
				27.35~27.60 腐植混じりシルト質中粒砂。 27.60~27.94 中~粗粒砂。シルトがわずかに混じる。 27.94~28.13 砂礫。基質にシルトが混じる。 B	25	26
				28.13~28.62 シルト。 28.62~29.05 細粒砂。シルトが混じる。 29.05~29.72 シルト。	26	27
				29.72~30.48 細粒砂。不明瞭なラミナがみられる。	27	28
30				30.48~33.72 シルト。上部に不明瞭なラミナがみられる。 30.73~30.82 ノジュールを挟む。	28	29
				32.60~32.62 細粒砂をレンズ状に挟む。近傍に腐植物含む。	29	30
				33.72~34.57 細粒砂。シルトがわずかに混じる。	30	31
				34.57~34.92 中粒砂。一部にシルトが混じる。 34.92~35.39 細粒砂。	31	32
35				35.39~36.52 シルト。	32	33
				36.52~37.00 細粒砂。 37.00~37.50 シルト。	33	34
				37.50~39.43 腐植混じりシルト。 37.50~38.74 腐植質シルトを縞状に挟む。 38.00 層厚10mm程度の灰白色細粒火山灰を挟む(Kkt)。 C 38.27~38.30 腐植質シルトを挟む。	34	35
				39.43~40.35 シルト。一部に腐植が混じる。	35	36
40				40.35~41.69 腐植混じりシルト。 40.62~40.87 腐植質シルトを縞状に挟む。 D 41.27~41.60 腐植質シルトを縞状に挟む。	36	37
				41.69~41.89 シルト。 41.89~42.28 細粒砂。植物片を含む。 42.25 断層。傾斜55°、フィルム~幅0.1mmの暗灰色粘土を伴う。	37	38
			42.28~42.64 腐植混じりシルト 42.64~43.20 シルト。上部に細粒砂を含む。 42.64 断層。傾斜55°、挟在物を伴わない。 43.20~44.10 細粒砂。ラミナがみられる。 43.70 断層。傾斜70°、幅0~2mmのシルト状部を伴う。 44.10~45.48 細~中粒砂。ラミナがみられる。	38	39	
			45.48~45.56 礫混じり中~粗粒砂。径2mm程度(最大85mm)の垂円~垂角礫を含む。 45.56~45.85 砂礫。径2~8mm(最大25mm)の垂円~垂角礫を主体とする。 45.85 断層。傾斜0°、挟在物を伴わない。	39	40	
45.85	-40.35		西山層	45.85~49.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。	40	41
					41	42
					42	43
					43	44
					44	45
					45	46
					46	47
					47	48
					48	49

孔名 : F5-5'

孔口標高 T. M. S. L. +5. 50m

掘進長 25. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 19. 00~25. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真	
					18	
					19	
19.83 20	-14.33		盛土・埋め戻し土 古安田層	<p>19.83~25.00 古安田層。シルトを主体とする。</p> <p>19.83~20.20 シルト。</p> <p>20.20~20.51 細粒砂混じりシルト。</p> <p>20.51~20.54 細粒砂。</p> <p>20.54~23.54 シルト。</p> <p>22.18~22.47 生痕が多く分布し、ノジュールもみられる。</p> <p>23.54~23.83 腐植混じりシルト。</p> <p>23.83~25.00 腐植質シルト。縞状を呈する。</p> <p>24.51~25.00 腐植分多く含む。</p>		20
					21	
					22	
					23	
					24	
25					26	
					27	
					28	
					29	
					30	
					31	
					32	
					33	
					34	
					35	
					36	
					37	
					38	
					39	
					40	
					41	
					42	
					43	
					44	
					45	
					46	
					47	
					48	
					49	

孔名 : F5-6

孔口標高 T. M. S. L. +5. 50m

掘進長 49. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17. 00~49. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真		
			盛土・埋め戻し土				
19.86	-14.36						
20			古安田層	19.86~45.84 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。	17		18
				19.86~23.86 シルト。	18		19
				20.44 細粒砂の薄層を挟む。	19		20
				20.70~23.86 腐植混じりシルトを挟む。	20		21
				22.09~22.52 生痕が多く分布し、ノジュールもみられる。	21		22
				23.86~25.37 腐植質シルト。縞状を呈する。	22		23
				24.57~25.37 腐植が多く混じり、明瞭な縞状となる。	23		24
				25.37~25.78 腐植混じりシルト。	24		25
				25.78~26.20 腐植質シルト。縞状を呈する。	25		26
				26.20~26.36 腐植混じりシルト。	26		27
				26.36~27.20 シルト。	27		28
				27.20~27.36 腐植混じりシルト質中粒砂。	28		29
				27.36~27.72 細粒砂。	29		30
				27.72~28.09 砂礫。基質にシルトが混じる。	30		31
				28.09~28.57 シルト。	31		32
				28.57~29.56 細粒砂。上部にラミナがみられる。	32		33
				29.56~30.42 中粒砂。	33		34
				30.42~31.04 シルト質細粒砂。	34		35
				30.69~30.75 ノジュールを挟む。	35		36
				31.04~32.06 細粒砂質シルト。	36		37
			32.06~33.77 シルト。上部に、細粒砂をレンズ状に挟む。	37		38	
			32.59~32.66 シルト混り細粒砂を挟む。腐植物を含む。	38		39	
			33.77~34.50 細粒砂。	39		40	
			34.50~34.90 中粒砂。	40		41	
			34.90~35.47 細粒砂。	41		42	
			35.47~36.84 シルト。所々に細粒砂を挟む。	42		43	
			36.84~37.00 細粒砂。ラミナがみられる。	43		44	
			37.00~37.54 シルト。	44		45	
			37.54~39.25 腐植混じりシルト。	45		46	
			37.54~38.53 腐植質シルトを縞状に挟む。	46		47	
			37.83 層厚35~45mmの灰白色細粒火山灰を挟む(Kkt)。	47		48	
			38.10~38.14 腐植質シルトを挟む。	48		49	
			38.40 断層。傾斜60~90°。幅0~0.2mmの暗灰色粘土を伴う。				
			38.63 断層。傾斜60°。挟在物を伴わない。				
			39.25~40.12 シルト。				
			39.77 断層。傾斜56°。幅0.1~0.4mmの暗灰色粘土を伴う。				
			40.12~41.42 腐植混じりシルト。				
			40.27~40.94 腐植質シルトを多く挟む。				
			40.94~41.15 腐植質シルトを縞状に挟む。				
			41.42~41.76 細粒砂。				
			41.63 断層。傾斜58°。幅0~0.1mmのシルト状部を伴う。				
			41.76~42.15 腐植混じりシルト。				
			42.15~42.62 シルト。細粒砂を挟む。				
			42.62~43.28 細粒砂。上部にシルトが混じる。				
			43.28~43.58 細粒砂質シルト。				
			43.58~45.23 細~中粒砂。ラミナがみられる。				
			45.23~45.84 砂礫。径8~15mm(最大60mm)の垂円~垂角礫を主体とする。				
			45.84 断層。傾斜0°。挟在物を伴わない。				
45.84	-40.34		西山層	45.84~49.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。			
				47.50 断層。傾斜75°。幅1cmの角礫混じりシルト・砂状破砕部を伴う。			

孔名 : F5-7

孔口標高 T. M. S. L. +5. 41m

掘進長 49. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17. 00~49. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
			盛土・埋め戻し土		17
19. 90	-14. 49				18
20			古安田層	19. 90~45. 84 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。	19
				19. 90~20. 52 シルト。不明瞭なラミナがみられる。	20
				20. 52~21. 74 腐植混じりシルト。	21
				21. 71~21. 73 生痕が多く分布し、ノジュールもみられる。	22
				21. 74~23. 90 コア欠如。	23
				23. 90~24. 30 腐植質シルト。	24
				24. 07~24. 30 腐植分を多く含む。	25
				24. 30~24. 55 腐植混じりシルト。	26
				24. 55~25. 20 シルト。	27
				25. 20~25. 87 腐植質シルト。縞状を呈する。 A	28
				25. 87~26. 21 シルト。	29
				26. 21~26. 68 腐植混じりシルト。	30
				26. 68~27. 16 細粒砂。不明瞭なラミナがみられる。	31
				27. 16~27. 78 砂礫。 B	32
				27. 78~28. 12 細粒砂。下部にラミナがみられる。	33
				28. 12~28. 52 細粒砂質シルト。上部に細粒砂を挟む。	34
				28. 52~29. 05 細粒砂。シルトがわずかに混じる。	35
				29. 05~29. 33 細粒砂混じりシルト。	36
				29. 33~30. 72 細粒砂。所々にシルトが混じる。	37
				30. 25 断層。傾斜64°。挟在物を伴わない。	38
				30. 72~31. 51 細粒砂混じりシルト。所々に細粒砂の薄層を挟む。	39
				31. 51~31. 62 細粒砂。	40
				31. 62~32. 71 シルト。ラミナがみられ、細粒砂を挟む。	41
				31. 92 断層。傾斜60°。挟在物を伴わない。	42
			32. 55~32. 56 シルト混じり細粒砂挟む。腐植物を含む。	43	
			32. 71~32. 85 細粒砂混じりシルト。	44	
			32. 85~34. 25 シルト。	45	
			34. 25~35. 23 細粒砂。ラミナがみられ、所々にシルトを不規則に挟む。	46	
			35. 23~36. 14 細粒砂混じりシルト。細粒砂の薄層を挟む。	47	
			36. 14~36. 60 細粒砂。ラミナがみられ、下部にシルトが混じる。	48	
			36. 60~37. 04 シルト。	49	
			37. 04~39. 00 腐植混じりシルト。		
			37. 14~38. 19 腐植質シルトを縞状に挟む。		
			37. 33 灰白色細粒火山灰の薄層を挟む(Kkt)。		
			37. 71~37. 75 腐植質シルトを挟む。 C		
			39. 00~40. 05 シルト。		
			40. 05~40. 13 腐植混じりシルト。		
			40. 13~40. 59 シルト。		
			40. 59~41. 20 腐植混じりシルト。腐植質シルトを多く挟む。 D		
			41. 20~41. 55 腐植混じり細粒砂。		
			41. 55~42. 03 腐植混じりシルト。		
			42. 03~42. 56 細粒砂質シルト。		
			42. 56~43. 06 細~中粒砂。上方細粒化がみられる。		
			43. 06~43. 50 シルト。		
			43. 50~44. 81 細粒砂。所々に中粒砂を挟む。		
			44. 81~45. 52 砂礫。径2~60mm(最大80mm)の泥岩垂円~垂角礫を主体とする。		
			45. 52~45. 65 中粒砂。		
			45. 65~45. 84 砂礫。径3~10mm(最大45mm)の垂円~垂角礫を主体とする。		
45. 84	-40. 43		西山層	45. 84~49. 00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。	46
					47
					48
					49

孔名 : F5-7'

孔口標高 T. M. S. L. +5. 39m

掘進長 25. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 19. 00~25. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
					18
					19
19. 81 20	14. 42		盛土・埋め戻し土 古安田層	<p>19. 81~25. 00 古安田層。シルトを主体とする。</p> <p>19. 81~20. 13 シルト。</p> <p>20. 13~23. 26 腐植混じりシルト。</p> <p>21. 78~21. 79 生痕が多く分布し、ノジュールもみられる。</p> <p>23. 26~24. 30 腐植質シルト。縞状を呈する。</p> <p>24. 07~24. 30 腐植分を多く含む。</p> <p>24. 30~24. 63 腐植混じりシルト。木片を多く含む。</p> <p>24. 63~25. 00 腐植質シルト。木片を多く含む。</p>	
25					20
					21
					22
					23
					24
					25
					26
					27
					28
					29
					30
					31
					32
					33
					34
					35
					36
					37
					38
					39
					40
					41
					42
					43
					44
					45
					46
					47
					48
					49

孔名 F5-8 掘進長 50.00m 掘削角度 90°
 孔口標高 T.M.S.L. +5.29m 掘削口径 86mm 表示区間 17.00~50.00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
19.47	-14.18		盛土・埋め戻し土		17
20			古安田層	19.47~45.58 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。 19.47~21.42 腐植混じりシルト。	18
21		21.42~23.70 腐植質シルト。 21.54~21.57 生痕が多く分布し、ノジュールもみられる。		19	
22		22.81~23.36 腐植が多く混じり、縞状を呈する。		20	
23		23.70~24.65 シルト。		21	
24		24.65~25.85 細粒砂・シルト互層。細粒砂が優勢である。		22	
25		25.85~26.37 砂礫。径2mm程度(最大20mm)の垂円礫を主体とする。		23	
26		26.37~27.00 粗粒砂。		24	
27		27.00~27.58 砂礫。径10~15mm程度の円礫を含む。 B		25	
28		27.58~27.63 中粒砂。 27.63~28.28 シルト。ラミナがみられ、細粒砂を多く挟む。		26	
29		28.28~30.28 シルト混じり細粒砂。ラミナがみられる。下部にシルト偽礫を含む。		27	
30		30.28~31.74 細~中粒砂。ラミナがみられ、下部にシルトが混じる。		28	
31		31.24 断層。傾斜70°、幅1mmのシルト状部を伴う。 31.74~32.41 細粒砂質シルト。一部にラミナがみられる。		29	
32		32.41~32.58 シルト混じり細粒砂。 32.58~33.63 細粒砂質シルト。上方細粒化がみられる。		30	
33		33.34 断層。傾斜65°、挟在物を伴わない。 33.63~35.89 シルト混じり細粒砂。ラミナがみられる。		31	
34				32	
35				33	
36				34	
37				35	
38				36	
39				37	
40			38		
41			39		
42			40		
43			41		
44			42		
45			43		
45.58	-40.29		西山層	35.89~36.02 細粒砂混じりシルト。 36.02~36.29 シルト混じり細粒砂。 36.29~36.78 シルト。 36.78~38.61 腐植混じりシルト。 36.87~37.88 腐植質シルトを縞状に挟む。 37.06 灰白色細粒火山灰の薄層を挟む(Kkt)。 C 37.43~37.45 腐植質シルトを挟む。	44
46		38.61~39.20 シルト。		45	
47		39.20~40.81 腐植混じりシルト。		46	
48		40.47~40.81 腐植質シルトを縞状に挟む。 40.81~40.95 シルト。 40.95~41.34 腐植混じり細粒砂。 41.34~41.65 腐植混じりシルト。 41.34~41.61 腐植質シルトを縞状に挟む。 41.65~42.38 細粒砂混じりシルト。 D		47	
49		42.38~42.87 細粒砂。 42.87~43.35 シルト。 43.35~44.50 細~中粒砂・シルト互層。細~中粒砂が優勢である。 44.50~44.79 礫混じり中粒砂。径5~10mm(最大45mm)の泥岩垂円~垂角礫を含む。 44.79~45.13 砂礫。径2~10mm(最大36mm)垂円~垂角礫を主体とする。 45.13~45.35 粗粒砂。 45.35~45.58 砂礫。径2~25mm(最大90mm)の垂円~垂角礫を主体とする。		48	
50			45.58~50.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。	49	

孔名 : F5-10

孔口標高 T. M. S. L. +5. 48m

掘進長 49. 00m

掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17. 00~49. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
			盛土・埋め戻し土		17
19.80	-14.32				18
20			古安田層	19.80~45.57 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。 19.80~20.25 シルト。不明瞭なラミナがみられる。 20.25~23.43 腐植混じりシルト。 21.90~22.00 生痕が多く分布し、ノジュールもみられる。 23.43~24.48 腐植質シルト。縞状を呈する。 23.43~24.26 腐植が多く混じる。 24.48~25.41 腐植混じりシルト。 25.41~26.05 腐植質シルト。縞状を呈する。 A 26.05~26.26 腐植混じりシルト。 26.26~26.80 シルト。 26.80~27.20 腐植混じりシルト質細粒砂。 27.20~27.48 砂礫。下部にシルト偽礫を多く含む。 B 27.48~27.68 シルト。 27.68~30.19 細粒砂。所々にシルト質細粒砂を挟む。 30.19~30.68 細粒砂混じりシルト。 30.32~30.36 細粒砂挟む。腐植物含む。 30.53~30.70 ノジュール。 30.68~31.00 シルト混じり細粒砂。 31.00~31.40 細粒砂混じりシルト。 31.40~31.73 細粒砂。中部にシルトの薄層を挟む。 31.73~32.12 シルト。 32.12~32.36 シルト質細粒砂・細粒砂質シルト互層。 32.36~32.75 シルト。 32.52~32.57 細粒砂~細粒砂混じりシルト挟む。腐植物を含む。 32.75~32.81 細粒砂。 32.81~33.50 シルト。 33.50~34.78 シルト質細粒砂・中粒砂互層。 34.78~35.90 細粒砂混じりシルト。 35.10 断層。傾斜70~80°、挟在物を伴わない。 35.90~36.31 細粒砂。 36.31~36.90 シルト。 36.90~38.75 腐植混じりシルト。 37.07~37.88 腐植質シルトを縞状に挟む。 37.12 断層。傾斜66°、幅0.1mmの暗灰色粘土を伴う。 C 37.43~37.46 腐植質シルトを挟む。 38.75~40.36 シルト。腐植がわずかに混じる。 40.36~40.85 腐植混じりシルト。 D 40.85~41.25 腐植混じり細粒砂。 41.25~41.33 腐植混じりシルト。 41.33~41.70 シルト。 41.70~42.40 細粒砂混じりシルト。 42.40~42.84 細~中粒砂。 42.84~43.38 シルト。 43.38~44.70 細~中粒砂。 44.70~45.57 砂礫。径15mm程度(最大95mm)の亜円~垂角礫を主体とする。 45.57~49.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。	18
					19
					20
					21
					22
					23
					24
					25
					26
					27
					28
					29
					30
					31
					32
					33
					34
					35
					36
					37
					38
					39
					40
					41
					42
					43
					44
					45
45	-40.09		西山層		46
45.57					47
					48
					49

孔名 : F5-11

孔口標高 T. M. S. L. +5. 35m

掘進長 49. 00m

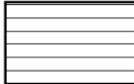
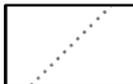
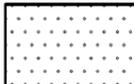
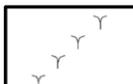
掘削口径 86mm

掘削角度 90°

表示区間 17. 00~49. 00m

深度	標高	柱状図	地層名	記事	コア写真
			盛土・埋め戻し土		17
19.69	-14.34				18
20			古安田層	19.69~45.65 古安田層。シルトを主体とし、下部では所々に砂を挟む。	18
				19.69~19.83 シルト。	19
				19.83~22.77 腐植混じりシルト。ラミナがみられる。	20
				21.57~21.66 生痕が多くみられ、ノジュールもみられる。	21
				22.77~25.32 腐植質シルト。	22
				22.94~23.27 腐植を多く含み、縞状を呈する。	23
				23.50~24.20 腐植を多く含み、明瞭な縞状を呈する。24.06付近に厚い腐植層挟む。	24
25				24.80~25.10 腐植を多く含む。 A	25
				25.32~25.65 シルト。	26
				25.65~26.37 細粒砂。下部はシルトと互層する。	27
				26.37~27.26 砂礫。径8~15mm(最大35mm)の垂円~垂角礫を含む。	28
				27.26~27.42 粗粒砂。下部に径2~4mm(最大10mm)の垂円~垂角礫を含む。 B	29
				27.42~27.93 細~中粒砂。	30
				27.93~28.21 細粒砂質シルト。	31
				28.21~29.10 シルト質細粒砂。上部はシルトと互層する。	32
				29.10~29.25 シルト。	33
				29.25~31.39 シルト質細粒砂。	34
30				31.39~32.55 細粒砂混じりシルト。所々に細粒砂を挟む。	35
				32.55~32.70 細粒砂。ラミナがみられる。	36
				32.70~33.68 細粒砂混じりシルト。	37
			33.68~34.23 細粒砂・シルト互層。シルトが優勢である。	38	
			34.10 断層。傾斜70° 幅0~2mmのシルト状部を伴う。平行に2本分布する。	39	
			34.23~35.61 細~中粒砂・シルト互層。細~中粒砂が優勢である。	40	
35			35.61~35.85 細粒砂・シルト互層。シルトが優勢である。	41	
			35.85~36.13 細粒砂。	42	
			36.13~37.06 シルト。	43	
			36.25 断層。傾斜55° 幅0.2~1mmのシルト状部を伴う。	44	
			36.62 断層。傾斜65° 幅0.1~0.2mmの暗灰色粘土を伴う。	45	
			36.92~37.06 所々に腐植質シルトの薄層を挟む。 C	46	
			37.06~38.74 腐植混じりシルト。	47	
			37.06~38.09 腐植質シルトを多く挟む。	48	
			37.10~37.11 層厚10mm程度の灰白色細粒火山灰を挟む(Kkt)。	49	
			37.56~37.58 腐植質シルトを挟む。		
			38.74~40.06 シルト。		
40			40.06~40.21 腐植混じりシルト。		
			40.21~40.62 シルト。		
			40.62~40.81 腐植混じりシルト。		
			40.71~40.81 腐植質シルトを挟む。		
			40.81~41.03 シルト。		
			41.03~41.38 腐植混じり細粒砂。		
			41.38~41.83 腐植混じりシルト。		
			41.38~41.72 腐植質シルトを所々に挟む。 D		
			41.83~42.57 細粒砂混じりシルト。		
			42.57~42.96 細~中粒砂。		
			42.96~43.62 シルト。		
			43.62~44.56 細~中粒砂。ラミナがみられ、所々にシルトの薄層を挟む。		
			44.56~45.19 砂礫。径4~10mm(最大85mm)の泥岩垂円~垂角礫を主体とする。		
45			45.19~45.45 粗粒砂。細礫をわずかに含む。		
45.65	-40.30		45.45~45.65 砂礫。径4~10mm(最大40mm)の垂円~垂角礫を主体とする。		
			45.65~49.00 西山層。塊状の泥岩を主体とする。		
			西山層		

柱状図層相凡例

主層相	副層相
 盛土・埋め戻し土	 粘土質
 粘土	 シルト質
 シルト	 砂質
 砂（細粒）	 礫質
 砂（中粒）	 腐植質
 砂（粗粒）	 軽石
 礫	 火山灰
	 断層
	<p>※○○質は、○○混じりを含む</p>